

KGA

'05夏季号
2005年9月1日発行



NO. 89

目次

平成17年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技	1
平成17年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技	5
平成17年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技	9
特別対談(2) 山梨県 1都10県の加盟倶楽部の活動状況を聞く	12
平成17年度 関東倶楽部対抗決勝競技	19
平成17年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技	25

新規加盟倶楽部紹介	30
理事会・分科委員会	31
月例競技成績表	39
お知らせ	40

表紙Photo 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技 成田ゴルフ倶楽部
(撮影・片山晴美/KGA広報委員)

 関東ゴルフ連盟

平成17年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

競技

“ショットの悪い日は 悪いなりのゴルフ”で二連覇を飾る ——ナショナル・チームのメンバーと社会人アマの戦い——

文・西澤 忠 (KGA広報委員)
写真・片山晴美、塚越克一 (KGA広報委員)



優勝杯を手に喜びの顔の優勝選手

各予選を勝ち抜いてきた決勝出場者は150名。そのうち約半数がジュニア、大学生で、最年少は中学生の内藤慶選手(香取)、最年長は64歳の小宮康彦選手(相模湖)だった。ちなみに小宮選手は決勝ラウンド(3R、4R)には進めず、内藤選手は309ストロークの54位、9打差で日本アマへの出場資格を逃がす結果となった。

日本の女子を含めてアマチュアゴルフ界がどんどん若返り現象を起しているが、この試合でもその一端を垣間見ることになる。なにしろ世界に目を転じれば、ハワイの女子アマ、15歳のミッシェル・ウィーが6月の全米女子プロ選手権で2位に入る時代。優勝したアニカ・ソレンスタムはメジャー連覇をめざす、別格の最強女子プロなのだから、“恐るべき子供たち”の時代は当分の間、続くのだろう。

◆ 日本アマの予選ではない。 タイトルをめざせ……阪田哲男

関東アマ選手権は1938年(昭和13年)に始まった歴史ある大会で、日本クラスのトップ・アマに登りつめる登竜門であることに異論ある人はいないだろう。今年の出場選手の中に、阪田哲男選手の名があったので、このタイトルの意義について聞いてみた。

阪田選手は関東アマ6回優勝もさることながら、昨年、通算30回出場の表彰を受けた。また昨年は、55歳で初出場した日本シニア選手権(三好・西)に優勝、日本シニアオープン(茨城・東)でもロー・アマチュアを獲得した日本を代表するトップ・アマ。日本アマのタイトル

こそないが世界アマの個人優勝などかくかくたる戦歴を誇り、その選手生命の長さでも群をぬいでいることで知られている。

——長い選手寿命の秘訣は？

「学生の頃(名古屋商科大)から1ストロークを競う試合が好きでした。競技ゴルフに漬かるのが好きだから、50歳になるまで遊びでプレーしたことはありません。練習のゴルフでも試合を想定してプレーしましたから」

——関東アマのタイトル6回保持者として、今の若い選手に望むことは？

「関東アマは日本アマへの予選ではありません。れっきとした伝統あるタイトルです。私が戦ってきた過程には、中部銀次郎、加藤一彦さんや、その後プロで活躍する倉本昌弘、羽川豊、伊沢利光など多くの強い選手がいました。そういうライバルがそのつといてくれたから闘争心が続いたのです。でも、今の若い選手の中には、ここで31位までに入れば、日本アマ選手権に出場できるという資格獲得のラインを気にしてプレーする選手をよく見かける。それは違うと思います」

——タイトルを争うのが試合であると。

「そう。勝つことに意義がある。タイトルをめざすべきです。それも若い選手はスポーツとして取り組んでいるのだから、今の時代は学生ゴルファーが勝つ



難所でも強かった顔の優勝選手

で当たり前だと思います」

◆ 終盤の連続ボギーは精一杯の結果 ……金浩延

たしかに、3日目が終わった段階で、トップ・グループを形成したのは、学生2人と若い社会人1人だった。昨年のチャンピオンで中央学院大4年の額賀辰徳選手（ロイヤルスター）と35歳の社会人、金浩延選手（都賀）が-4、すでに一昨年の大会でタイトルを獲得している鹿島学園高校3年生の伊藤勇気選手（関東ジュニア）が-1である。

会場となった「成田ゴルフ倶楽部」は川田太三設計で1988年（昭和63年）にオープンしたコースで、きたる9月20日から23日まで「ノムラカップ・アジアアマ」開催が決定している。試合前の再査定で、7,140ヤード・パー72はコースレート73.1という数字が出た。その上、最終日は小雨のばらつく雨模様、気温21.8度、東北東の風が4m/sという気象条件で、難度はその数字より増すことが確実であった。

そんな予想通り、アウト9ホールを終えた時点でスコアは伸びず、三者三様に+1の37だった。ただし、金浩延は2バーディをとって、額賀に一時は3打差をつけるスタートダッシュを見せながら、8、9番のボギーで帳消しにするという荒れ模様のゴルフだった。

こうして、米ツアーでタイガー・ウッズなど



最年少の内藤選手（13歳）

戦いすんだ最終組の3人

が口にして有名になった試合の山場「サンデー・バック9」（4日間トーナメントの最後の9ホール）に突入したのだった。

10番パー5、フェアウェイが左右に二段になり、クロス・バンカー群がフェアウェイを横切るホールを3人は軽々と2打で届かせた。ただし、2オンしたのは伊藤ひとり。あとの2人は手前エッジ（額賀）と右ラフ（金）。それでも、さすがに優勝を争うグループ、寄せワンのバーディと2パットのバーディで、スタート時点のスコアで並んだ。さあ、ここからが本当の「サンデー・バック8」である。

小雨が降り出す前、スタート時からレインウェアのズボンを履いた金はひとり黙々とフェアウェイを歩く。一方、伊藤と額賀はともに日本のナショナル・チームの一員同士ということもあって、ティーショットを終えると並んで、何ごとか話合って歩く。2人とも雨具の装いはなく、傘も差さない。気象庁が梅雨入り宣言をした後だが、カラ梅雨が続けているせいかもしれないが、アスリート系のゴルファーに雨具は似合わない。陸上の選手だって、雨具を着て競技するシーンを見たことはない。それが、すがすがしいプレー・スタイルに見えてきた。

最初につまずいたのは額賀だった。11番で3パット、13番でグリーン右に立つ樹木の根元からのアプローチが寄らず、入らずのボギーで、あっという間に金に2打差の遅れをとる。ドライパーもアイアンもブレている。それも



一打差の2位に終わった金選手



最後まで頑張った伊藤選手



野口正三競技委員長の成績発表に聞き入る選手たち

右に押し出すかと思うと左にも引っかける最悪のパターン。「こういう日もあるさ」とでも思っているのか表情は変わらない。だから、その後の14番、15番とティーショットを曲げながらもなんとかパーをセーブする展開が続いた。

一方の金は2打のアドバンテージを貰って11番から6ホールをバー行進。伊藤もバーディが来ないので足踏みしているから、金にとって額賀ひとりがライバルになった。雨雲の間から日の光が差してくるような錯覚をしたのだろうか、金は15番のティーショットを右に曲げ、前方の木の枝を避けたセカンドがグリーン左下の深いバンカーに捉まる。3は深さに加えて、ピンまで30ヤードはある。やはり、寄らず、入らずのボギー。続く16番パー3でも、グリーン右に外れた後のアプローチが1に寄ったものの傾斜の強いグリーンのラインを読みきれずに外してしまう。試合後に聞いたところ、「あの2ホールのボギーは精一杯やった結果です。後悔してません！」と応援にきた子供を抱き上げて、爽やかに語ってくれた。それは、父親の顔だった。

◆ プレーオフを覚悟して待つ ……額賀辰徳

話を元に戻す。16番で微妙に曲がるフックラインの2に入れて、「これで並んだ。次のロングが勝負だ」とやる気を起したのは額賀。

事実、フェアウェイがゆるく下るパー5の17番で、明暗がくっきり分かれた。グリーンエ

ッジまで残り184ヤードを5番アイアンで「最高の当たり」をして2オン・バーディの額賀に対し、金は左ラフから2打をまた引っかけ、グリーン左のカート道路脇のラフ。これをやっとなんとグリーンオーバー。アプローチがショートして2段グリーン

の段差で戻り、7は残した。ギャラリーの中から「これで終わった？」の言葉が漏れる。しかし、観衆が驚いたのは金がそれをねじ込んだからだ。1打差。

「まだ、なにか起こる？」と思ったのは観衆だけではない。最終グリーンで金がワンピンに寄せ、入ればプレーオフもある状況がやって来たのだ。

しかし、金は惜しくもそのチャンスを外した。

「もし“外してくれ！”とっていて、入ったらショックですから、“入るだろう”と思って、プレーオフの心の準備をして、見ていました」試合後のインタビューでも、額賀は冷静だった。

——ショットが曲がっていたのによい我慢できた訳は？

「ティーショットが曲がり出して止まらないので、曲がり幅を小さくするゴルフを心掛けました。ショットの悪い日には悪い日のゴルフが出来て嬉しいですよ」

大学2年の時から伸ばした顎髭は「自分の童顔がイヤで始めたヒゲで、タイガーのマネではありません」と笑った顔が清々しかった。



二連覇を果たした額賀選手

平成17年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成17年6月7日(火)～10日(金) ●開催コース 成田ゴルフ倶楽部 7,140ヤード パー72

エントリー数159名/出場者数150名/欠場者9名

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	合計
1	観音 広徳	ロイヤルスター	72	68	72	73	285
2	金 浩延	都 賀	71	71	70	74	286
3	伊藤 勇気	関東ジュニア	76	68	71	72	287
4	宇佐美祐樹	廣	72	71	76	70	289
4	松村 進央	鹿 沼 7 2	71	73	74	71	289
6	渡邊 悠	鶴	75	72	71	74	292
7	橋爪 光彦	日 本 大	73	73	75	72	293
8	藤田 大	豊月・佐野	73	79	73	69	294
9	中島 徹	昇 仙 峽	72	76	74	73	295
9	村上 哲弥	廣	72	75	74	74	295
11	亀井 美博	ノースショア	76	73	71	76	296
11	赤坂 一樹	専 修 大	72	75	75	74	296
11	杉山 隼	総 武	72	75	73	76	296
11	成田 朋正	豊 岡 国 際	75	75	71	75	296
11	佐藤 和夫	オリムピック	80	66	73	77	296
11	久米 朗文	小田原・松田	72	71	76	77	296
17	岩井 正一	習 志 野	74	73	78	72	297
17	渡辺 泰三	バ 協	77	73	72	75	297
17	室野 歩	東 千 葉	74	74	75	74	297
17	大瀧 崇真	千葉国際	73	78	73	73	297
17	寺沼 幸雄	水 戸	72	74	78	73	297
22	松田 永基	清 川	73	75	76	74	298
22	金子 光規	レインボー	75	76	73	74	298
22	真田 雅彦	バ 協	74	75	74	75	298
22	芳賀 洋平	関東アマ	73	78	70	77	298
26	水上 晃男	袖 ャ 浦	74	76	73	76	299
26	川満 歩	日 本 大	79	72	75	73	299
26	永野竜太郎	茨城県アマ	78	73	74	74	299
26	茅野 弘喜	諏 訪 湖	71	75	78	75	299
26	豊島 豊	東 千 葉	75	72	76	76	299
26	秋元 一男	東名厚木	76	74	71	78	299
32	斎藤 麗	甲府国際	77	76	75	72	300
32	吉田 祐基	駒 澤 大	73	76	75	76	300
[以上日本アマチュアゴルフ選手権競技出場有資格者]							
32	山岸慎太郎	慶應義塾大	73	74	74	79	300
35	山口 祐平	専 修 大	74	76	78	73	301

予選競技メダリスト選手

第1ブロック	岡田 杜広 (豊月・佐野)	72ストローク
	塚本 真司 (鹿 沼 7 2)	72ストローク
第2ブロック	斎藤 泰正 (アカデミアヒルズ)	68ストローク
第3ブロック	井上 紳也 (関東ジュニア)	72ストローク
第4ブロック	今野 一哉 (東 京 演)	73ストローク
	永野 雄亮 (カ ズ き)	73ストローク
	岡田 卓麻 (千葉国際)	73ストローク
第5ブロック	染谷 健市 (扶 桑)	70ストローク
第6ブロック	車崎祐一郎 (扶 桑)	67ストローク
第7ブロック	前栗蔵俊太 (セントラル)	75ストローク
第8ブロック	河満 歩 (日本大学)	74ストローク
	杉山 和正 (大 利 根)	74ストローク
	若林 彰 (南 富 士)	74ストローク

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	合計
35	木下 裕太	バ 協	74	74	74	79	301
37	金原 原碩	バ 協	72	79	78	73	302
37	宮里 政志	関東ジュニア	72	74	75	81	302
37	村壁 謙二	ノースショア	75	73	77	77	302
40	竹石 要佑	筑 波	75	76	79	73	303
41	勝又 崇之	専 修 大	74	74	81	75	304
41	原田 武秀	府 中	74	79	73	78	304
41	井上 紳也	関東ジュニア	74	74	80	76	304
44	金田 崇宏	筑 波	77	75	75	78	305
44	塚本 真司	鹿 沼 7 2	80	72	79	74	305
44	角田 浩博	東 名	77	76	72	80	305
44	大山 和則	スプリングフィールド	73	76	76	80	305
48	築館 利明	駒 澤 大	76	76	76	78	306
49	前栗蔵俊太	セントラル	77	75	78	77	307
49	田村 敏明	越 後	76	77	77	77	307
49	広田 文雄	長 野	73	75	79	80	307
52	大久保大樹	関東ジュニア	78	75	76	79	308
52	館 英樹	富士 笠 野	78	74	77	79	308
54	岡本 聡	習 志 野	77	75	76	81	309
54	堀江 隆	カ バ ヤ	77	76	75	81	309
54	内藤 慶	香 取	78	75	75	81	309
54	和田 雅英	東京五都市	77	73	77	82	309
54	亀井 隆	唐 沢	77	76	78	78	309
59	後藤 拓磨	中央学院大	75	76	82	77	310
59	斎藤太津規	扶 桑	73	79	80	78	310
59	高安 信行	セントラル	75	75	79	81	310
59	阪田 哲男	袖 ャ 浦	74	75	76	85	310
63	上島 英信	ニッソー	71	81	83	76	311
63	豊田 弘司	万 木 城	74	76	79	82	311
63	高田 聖斗	米 山 水 源	77	76	76	82	311
66	加藤 省志	小田原・松田	76	76	81	79	312
67	阿部 逸朗	鶴 舞	78	75	82	81	316
67	名取 和光	ダイワインター	75	74	84	83	316
69	若林 彰	南 富 士	76	79	79	86	317
棄権	関澤 誠	ブイレイクス	75	78	80		
棄権	平戸 進二	清 川	75	74	86		

特別表彰

決勝競技	
(20回出場表彰)	日暮 俊明 (扶 桑)
	和田 博 (東京五都市)
(10回出場表彰)	石井 重次 (メイプルポイント)
	小林 勝美 (武 蔵)

平成17年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技

競技

重圧をはねのけて 6打差の勝利

—— 長打と寄せに絶妙な技術を
発揮した佐藤里菜選手 ——

文・西田美千子 (KGA広報委員)
写真・伊室一義 (KGA広報副委員長)
舟橋一芳、増田 収 (KGA広報委員)



優勝した佐藤選手

関東女子ゴルフ選手権は、5月16、17日の両日、相模原ゴルフクラブ・西コースで36Hストロークプレーで行われた。最終日は五月晴れの絶好のゴルフ日和。その中で、第1日目、森桜子さん(扶桑)を1ストロークリードしていた佐藤里菜さん(ロイヤルスター＝日本大学2年)が、快調にプレーを進め、2位との差6ストローク、2アンダーの142という好成績で初優勝を飾った。

★ゴルフを楽しむ若い選手たち

最終日のスタート時点では、前日のスコアから、かなりの激戦が予想されました。つまり、佐藤里菜さんが72のパープレー、それに続く森桜子さんが73、さらに栗原美佐枝さん74、若林

舞衣子さん75と、4人が1ストローク差で並んでいたからです。

舞台となった相模原ゴルフクラブ(西コース)は、この選手権の設定距離が6,172yd、各ホールは松や巨木でしっかりセパレートされ、佐藤選手のパッティンググリーンの周辺には、必ずといっていいほど、入ってはいけないバンカーが待ちかまえています。それにグリーンのアンジュレーションも微妙で、集中力を欠いた読みでは、たちどころにおとし穴に落ち込んでしまいます。

しかも試合のために伸ばしたラフは、抵抗の強い茶色の芝の花が見え、このラフに入れたら一筋縄ではいかないことがすぐに見てとれます。

関東女子ゴルフ選手権というビッグタイトル、それに相模原ゴルフクラブの手強いコースを目の前にしての決勝戦ともなれば、だれでも緊張感や優勝を意識し



2位タイ。健闘した若林選手



同じく2位タイ。森選手のフィニッシュ



森選手の見事なバンカーショット



和やかな雰囲気最終組の選手たち



5位に入賞した栗原選手

で、かなり重圧がかかると思うのがふつうです。しかし、学生の皆さん（優勝を争うと思われる4人のうち、栗原さんを除いて全員学生）は、張りつめた空気の中にも、実に和気あいあい、大変和やかな雰囲気をかもし出していました。

プレー後のインタビューでも、佐藤里菜さんは「緊張感はまったくなく、楽しくプレーできました」と、語ってくれたのが印象的でした。いまどきの若い人たちは、決勝戦でも楽しく試合に臨めてしまうということに大変な驚きを感じました。

調和のとれた優勝者のプレー

佐藤さんが優勝を意識したのは18番ホールだといいますが、佐藤さんの武器は大きなスウィングアーク、それにテンポのよいスウィングです。このスウィングから飛び抜けた飛距離を出すのが持ち味です。

しかし、この大きな飛びも、時にはそれがえってよくないポジションに止まることもあります。例えば、17番ホール（367ヤード）では、思



大きなスウィングで飛距離を出す佐藤選手

い切りよく飛ばしたドライバースhotsが、飛びすぎて第2打が左足下がりの斜面に止まるといふ不運に見舞われたりもしました。しかし、こうした悪条件にもかかわらず、第2打を高いボールでうまく処理して、グリーンエッジまでもっていき、そこから何なくパーセーブできる場所へ寄せる。アプローチもパットもソツがなく、素晴らしいの一語に尽きます。

ソツがないといえば、18番ホールでもドライバークが左へ曲がって林の中へ。しかし、林から出して、第3打目をグリーン奥に乗せ、手堅くパーを奪取。長距離ヒッターが、随所にこんな妙技を見せるのですから、2日間トータル2アンダーという好スコアも十分にうなずける場所です。

最終組のそれぞれの素晴らしいプレーヤーの中で独走した佐藤里菜さんは、ふだん横浜のゴルフ場でアルバイトをしながら、日々の練習を積んでいるということですが、その努力が実を結び、飛ばしの技術と巧みなアプローチとパットがうまくバランスされるようになったからと思われる。もちろん、それが「楽しくプレーできる」余裕につながっているのではないのでしょうか。

関東の頂点に立った佐藤里菜さんには、つぎの日本女子アマ選手権に向けて頑張ってもらいたいと思うし、そしてさらに「プロを目指す」という言葉通り大きな目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。

若い学生選手にまじって健闘したのが、栗原

美佐枝さん（小田原・松田）です。飛距離で定評のある栗原さんも、3人の現役学生の中でプレーして、感じる場所は多々あったと思われます。しかし、そんな感情は表に出さず、集中力を高めながら、黙々と自分のゴルフをしている姿には、思わず自分の立場も忘れ、応援したくなるほどでした。5位入賞は立派としかいいようがありません。

“日本”へ進出した母と子の健闘

こんどの関東女子ゴルフ選手権には、興味深い話題がいくつかありました。それを拾ってみましょう。

まずなんといっても特筆されなければならないのは、佐藤里菜さんの強さです。2位との差が6ストロークもあった選手権が、過去もあったのでしょうか。戦い終わってまず、佐藤さんの強さを強く印象づけられました。

そのほか、驚きの一つは、最年少、高田莉花ちゃん（米山水源）の出場です。11歳、小学校6年生です。

逆に、出場回数30回を目指して頑張っている大先輩、尾関久枝さん（武蔵）66歳の健闘にも頭が下がりました。高田莉花ちゃんと比較すると、なんと半世紀以上の開きです。それぞれ予選を見事に通過して、同じ舞台で腕を競い合うゴルフならではの現象といえましょう。ピチピチと若さに溢れる人たちは、体力を利用して飛距



出場回数30回を目指す尾関選手



11歳、小学校6年生最年少の高田選手



伝統の優勝杯を手にする佐藤選手。右は吉田理事長

離という武器をもち、ベテランの皆さんは、数々の経験を生かし、技で勝負に臨んでいます。この対照的なアングルもまた多くの人たちに感銘を与えたようです。

そういう点では、矢嶋智都子さん（霞ヶ関）と里菜さん（霞ヶ関）母子が、ともに好成績を収め、日本女子アマチュアゴルフ選手権に出場するというのも嬉しい話です。矢嶋智都子さんも、率直に「大変嬉しい」と語って下さいましたが、いくら親子だからといっても、個々の努力の賜物にはありません。心から「おめでとう」と申し上げます。

このほか、今回の大会では熱戦を築め上げるいろいろなドラマが展開されました。改めてゴルフという年齢のないスポーツの素晴らしさ、そして奥の深さを楽しみ実感し、心の中で「選手の皆様、お疲れさまでした。そして息づまる熱戦をありがとう」とつぶやきながら相模原ゴルフクラブを後にしました。



ともに日本女子アマ選手権出場を手にした矢嶋智都子さん（右）、里菜さん親子

平成17年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成17年5月17日(火) ●開催コース 相模ゴルフクラブ・西コース 6,172ヤード パー72

エントリー137名/出場者133名/欠場者4名

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	佐藤 悠生	ロイヤルスター	72	70	142
2	若林舞衣子	関東女子	75	73	148
2	森 桜子	扶桑	73	75	148
4	荒瀬 桂子	同部チサン	77	72	149
5	栗原美佐枝	小田原・松田	74	76	150
6	小山恵利子	関東ジュニア	76	75	151
7	金子 未来	関東女子	81	73	154
7	津島さやか	麻生	78	76	154
9	西村 友希	太平洋・ヒルクレスト	76	79	155
9	斉藤 愛瑠	関東ジュニア	76	79	155
11	篠塚 美幸	富田	83	73	156
11	岡宮 路子	小田原・湯本	79	77	156
11	高橋香穂美	小田原・松田	78	78	156
11	小山 陽子	廣瀬スリー	79	77	156
15	田谷 千秋	平塚富士見	80	78	158
15	佐々木祥子	妙高	79	79	158
15	横須賀直美	セブンレイクス	77	81	158
18	阿部 悠	関東ジュニア	78	81	159
18	鈴木 浩美	ファイブエイト	83	76	159
18	長瀬 万寿	東京	78	81	159
18	林 佳世子	ロイヤルスター	79	80	159
22	西村 麻衣	専修大	82	78	160
22	関 舞	千葉	80	80	160
22	矢嶋 里菜	鹿野	79	81	160
25	青木 敬子	富士箱根	84	77	161
25	上野 千鶴	ゴールドレイクス	83	78	161
25	露木 直子	東名厚木	85	76	161
25	田村 麻衣	ロイヤルスター	81	80	161
25	矢嶋智都子	鹿野	78	83	161
25	杉浦えみ	寄居	81	80	161
31	市川 慶子	江戸	82	80	162

予選競技メダリスト

第1ブロック	関 舞 (東京)	74ストローク
	高橋香穂美 (小田原・松田)	74ストローク
第2ブロック	津島さやか (麻生)	72ストローク

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
65	後藤 悠生	京	84	84	168
70	原 悠子	豊月・佐野	85	84	169
70	愛甲 通	豊月・豊	86	83	169
70	松本 京子	鳩山	87	82	169
70	加藤 理川	伊豆大仁	83	86	169
70	五十嵐洋子	チャタリング藤岡	83	86	169
70	福田 葉子	セベ・パレストロス	83	86	169
70	坂本 真菜	明治大	84	85	169
77	竹田百合恵	グリーンバレイ	89	81	170
77	尾田向貴子	太平洋・ヒルクレスト	85	85	170
77	石毛 里菜	千葉桜の里	84	86	170
77	伊藤 結花	ザ・レイクス	85	85	170
77	原田 町子	智志	86	84	170
77	増田 京子	筑波	80	90	170
83	外山ゆう子	秋山	85	86	171
83	宮澤 貞子	新千	83	88	171
83	上原 由	真名	84	87	171
86	高田 莉花	米山水源	92	80	172
86	吉田 寛子	富士箱根	85	87	172
86	岩田 淳子	横濱	84	88	172
86	加藤 勝美	箱根	84	88	172
90	尾関 久江	武蔵	88	85	173
90	荒田 英江	鹿野	88	85	173
90	富永麻友美	廣瀬スリー	87	86	173
90	小橋 梨紗	関東ジュニア	86	87	173
90	森 美代	廣之台	86	87	173
95	佐藤 文香	豊岡国際	87	87	174
95	田島 淳江	チャタリング藤岡	88	86	174
95	吉田 薫	鶴舞	82	92	174
98	安田 記子	日本体育大	92	83	175
98	原口 こだま	神川	87	88	175
98	浜田 由香	高松	88	87	175
98	大谷 幸子	東千	89	86	175
102	高橋 寿子	豊月・鹿沼	89	87	176
102	高橋 貴子	東松山	88	88	176
104	五代 恵未	下松	92	85	177
104	入江 佳子	磯野	88	89	177
104	川口文恵子	瀬野	89	88	177
104	吉永会美佐	岩瀬川	87	90	177
104	岩本 晶美	富士御殿場	88	89	177
104	新戸沙香	泰野	88	89	177
110	竹節 嘉恵	信濃	92	86	178
110	大原真理子	新千	89	89	178
110	神宮寺典子	東松	84	94	178
113	松山奈津江	鹿沼72	94	85	179
113	松野 信子	東松	88	91	179
113	石井 恵子	箱根	89	90	179
113	人見 洋子	鎌倉	91	88	179
113	山口八重子	妙ヶ崎	87	92	179
118	黒野 美奈	富士御殿場	88	92	180
118	田島 弘子	ツインレイクス	90	90	180
118	橋 達子	船橋	85	95	180
118	服部 みつ	伊豆大仁	92	88	180
122	熊澤勢以子	箱根	88	94	182
122	中村 静江	東千	92	90	182
122	松沢 江美	栃木ヶ丘	89	93	182
125	神蔵 佳子	サンヒルズ	89	95	184
126	渡辺 良子	相模	96	89	185
126	藤井恵利子	富士御殿場	90	95	185
128	増田 秀子	太平洋・ヒルクレスト	91	95	186
129	山本 直子	皆川	97	97	194
130	伊藤 桂子	利根	99	103	202
失格	大徳 潤子	新千			
失格	望月 和	大平			
失格	田辺美恵子	チャタリング藤岡			
欠場	高橋 永江	鳥城			
欠場	吉田弓美子	関東女子			
欠場	大谷伊利子	鹿沼			
欠場	宮本 恵恵	川中			

特別表彰

(20回出場表彰)	市川慶子 (江戸)
	増田京子 (筑波)
	森 美代 (廣之台)
(10回出場表彰)	南園真理 (同部チサン)

平成17年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技

競技

予選最下位から チャンピオンの座へ

悪コンディションを味方にした
強運の後藤慎二郎選手――



文・森口静彦(KGA広報委員)
写真・舟橋一芳、増田 収(KGA広報委員)



優勝した後藤選手

今年度の関東グランドシニアは第31回大会。平成12年に予選競技を行なうようになってから6回目の大会だ。予選は、去る4月25日、第1ブロック(茨城GC東コース)、第2ブロック(茨城GC西コース)に分れて開催され、上位119名が予選を通過、これに前年度の決勝5位タイまでの7名、合計126名が参加してタイトルを争った。

決勝会場・相模カンツリー倶楽部は(昭和6年9月開場)、平成11年に次いで本大会は6回目(最多回数)の開催だ。同コースは我が国のゴルフの揺籃期における最高の明星と仰がれた赤星六郎が夢と理想をかけて設計した。距離はながい、要所に多くのバンカーを配置、かつ砲台グリーンを深いアリソン・バンカーがガードして、高い戦略性を要し、赤星六郎最高の傑作と言われている。

10年前とどれだけ違う 飛距離とパー 達成率比べ

相模では過去5回、グランドシニア決勝競技が開催されているが、平成7年大会の珍しい資料がある(会報「KGA」No.51)。11番でティーショットの飛距離、14番ではグリーン回りのテクニクを定点観測し

たものだが、飛距離では46名中20名(約43%)が200ヤード地点を越え、一方、14番(297yards、par4:当時)でスタート時に注意を聞く各選手は40名中パー以上の選手が17名(42.5%)いたというものである。

十年一昔というが、この10年に於けるゴルフ道具の発展は極めて顕著、またグランドシニアの肉体系年齢も大いに若くなっている。比較のため、同じ定点観測を試みることにした。11番では、10年前と同じフェアウェイ右側三つのバンカーの真中のバンカーの中央地点に陣取って、通過する10組40名の飛距離を調査した。その結果、200ヤード地点を越えたのは26名(65%)と前回調査より大幅な伸びだ。当日は小雨が降り続いていた中で、ボールの飛びも転がりも悪い。もし、コンディションが良ければもっと違った結果となったはずだ。14番(312yards、par4:現在)



雨中の熱戦熟年プレーヤーには厳しい

では40名中20名(50%)がパー。僅か10年間のことであるが、グラン



18ホールを終えてスコア提出

トップタイ3名

……プレーオフなしの珍事

さて、決勝当日は終日小雨が降り続き、気温16度、しかも相模につきものの秒速3mの風も吹いた。悪コンディションの中でグランドシニアの熱き戦いが繰り広げられたが、まず、アウトスタート2組目の後藤慎二郎選手（大厚木）が79のスコアカードを提出。同選手は昨年の決勝競技に初出場で10位タイとなり、日本グランドシニア選手権では23位となった。今年は予選第1ブロック最下位52位タイとなって、「マッチング・スコアカード方式」により予選を辛くも通過し、決勝競技に出場した選手。次に、インスタート2組目横川尚三選手（唐沢）が79をマーク。今年、初出場ながら、予選第2ブロックを78ストローク、14位で通過した強豪だ。その後、インスタート5組目、今大会が2回目出場の山野辺邦夫選手（袖ヶ浦）も79で上がった（前年度成績：84、50位タイ）。

競技成績を表示するコンピューターの端末には上記3選手の名前が表示されたが、アウトスタートは17組まで、インスタートは15組までである。雨具を着た選手が次々に帰って来るもの



成績速報に釘づけの選手たち

ドシニアのレベルが向上していることを実証できたと思う。

の、悪コンディションの中で成績は伸びない。最後の1組がスコアカードを提出し終わ

ったが、遂に3選手を上回る選手が出なかった。規定により、即日サドンデスのプレーオフで優勝を決めることになった。

ところが横川、山野辺選手がなかなか現れない。その間を利用して、プレーオフに備えてスパイクを履いたままの後藤選手に話を聞いた。練習日に来てグリーン回りの攻めが重要と判断し、アプローチとパターを集散的に練習したという。雨でグリーンやバンカーが重くなったのも自分には有利だったし、風も肌で感じるより強いと判断したのが良かったという。ツキに恵まれたことをしきりに強調された。

トップタイの2選手に対し、再三再四アナウンスをしたが、両選手からは何の連絡もないまま時間が経過し、結局、競技委員長の判断により、後藤選手の優勝が決まった。

欠席者が多い表彰式

120名を超える選手が参加した筈の大会であるが、5時からの表彰式に出席した選手の数に極めて少ない。決勝競技は競技委員長の成績発表がなされた時点で終了したことになるのだが…

グランドシニア決勝は、顔馴染みの同窓会の雰囲気と和気藹々としたものだったと言われていたが、早々に会場から消える選手も多く、しかも減多にない優勝のプレーオフの権利まで放棄するようでは、折角の大会に出た意味がないではないか。最近、ゴルファーのエチケット・マナーの低さが話題になるが、範を垂れるべきグランドシニアの一部にゴルファーとしての基



ロビーでくつろぐ選手のみなさん

本的な心構えができていないのは誠に残念。大きな反省材料を残した大会であった。

平成17年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成17年5月30日(月) ●開催コース 相模カンツリー倶楽部 6,182ヤード パー-72

エントリー126名/出場者126名/欠場者0名

順位	選手名	所 属	アウト	イン	合計
1	後藤慎二郎	大 厚 木	41	38	79
2	横川 尚三	唐 沢	38	41	79
2	山野辺邦夫	袖 ヶ 浦	38	41	79
4	内野 和夫	八 王 子	43	37	80
4	田中 明夫	狭 山	42	38	80
6	松岡 和哉	東 京 よ み う り	41	40	81
6	佐々木喜堂	大 熱 海 国 際	41	40	81
6	市川 勇	美 里	41	40	81
6	山下 寛	平 川	41	40	81
6	清水 祥一	狭 山	41	40	81
6	角南 道弘	中 山	40	41	81
12	宮坂 昭治	本 厚 木	44	38	82
12	稲葉 英治	東 京 千 葉	42	40	82
12	新実 啓悦	嵐 山	42	40	82
12	岡山 貴夫	大 根 枝 サ ン	41	41	82
12	小澤 博	習 志 野	40	42	82
17	藤澤 明生	穂 高	43	40	83
17	土屋 壽	藤 ヶ 谷	43	40	83
17	小池 政一	越 生	42	41	83
17	中村 隆男	塩 城	42	41	83
17	南 摩	南 摩	41	42	83
17	鈴木 正治	府 中	41	42	83
17	俣島 輝雄	千 葉	40	43	83
17	山田 享弘	武 蔵	39	44	83
17	太田 英二	松 ヶ 丘	38	45	83

以上日本グランドシニアゴルフ選手権出場有資格者

26	丸山 久夫	武 蔵	45	39	84
26	伊藤 博秋	清 川	44	40	84
26	大村 豊	富 士 箱 根	44	40	84
26	田口 敬祐	紫 雲	42	42	84
26	池田 正和	横 浜	41	43	84
26	古川 修造	湯 河 原	41	43	84
26	秋山 俊	日 高	41	43	84
26	市川金次郎	美 里	40	44	84
34	高橋 一	嵐 山	46	39	85
34	藤本 正明	東 京 名	46	39	85
34	田口喜三郎	水 戸	45	40	85
34	新屋 忠	藤 ヶ 谷	45	40	85
34	山岸 勇幸	多 摩 之 台	44	41	85
34	山崎 徳人	多 摩 摩	43	42	85
34	森原 清	鴻 巣	42	43	85
34	藤生 正男	佐 野	42	43	85
34	市川 二郎	大 相 模	42	43	85
34	鳥居 邦彦	成 田 ハイ ツ リ	41	44	85
34	中島 誠	森 林 公 園	41	44	85
34	杉原 宏	飯 能	41	44	85
34	長谷川浩史	塩 城	41	44	85
47	嶋田 静雄	メイプルポイント	45	41	86
47	加倉井満郎	新 水 戸	45	41	86
47	高橋伊佐男	G M G ハ 王 子	43	43	86
47	平澤 角治	メイプルポイント	43	43	86
47	安藤 龍男	京 葉	43	43	86
52	山路 慶一	川 越	45	42	87
52	関中 正	利 根	45	42	87
52	岡部善三郎	中 津 川	45	42	87
52	永井 重吉	磯 子	44	43	87
52	鹿島 威二	東 京 国 際	44	43	87
52	菅谷 三郎	新 千 葉	43	44	87
52	志田 宣男	か ず さ	43	44	87
52	鈴木 健明	茨 城 パ シ フ ィ ッ ク	43	44	87
60	大垣 達也	相 模	48	40	88
60	小野太三郎	松 本	48	40	88
60	富田 一幸	ロ イ ヤ ル ス タ ー	46	42	88
60	田来 康二	浜 松 シ ー サ イ ド	45	43	88

■予選競技メダリスト

第1ブロック 宮坂 昭治 (本 厚 木) 75ストローク
第2ブロック 角南 道弘 (中 山) 71ストローク

■特別表彰

(15回出場表彰) 今井 昭一 (中 津 川)
(10回出場表彰) 稲葉 英治 (東 千 葉) / 佐々木喜堂 (大熱海国際)
柴崎 行雄 (一 の 宮) / 田口喜三郎 (水 戸)

順位	選手名	所 属	アウト	イン	合計
60	小林謙太郎	川 越	45	43	88
60	益田 一利	戸 塚	44	44	88
66	山本 利次	真 名	47	42	89
66	水越 要	日 光	47	42	89
66	竹内 勉	我 孫 子	47	42	89
66	平野 次男	嵐 山	47	42	89
66	近藤 幸造	嵐 山	47	42	89
66	安藤 功	東 京 名	46	43	89
66	荒川 健	茨 城 パ シ フ ィ ッ ク	46	43	89
66	澤田 弘	白 旗	45	44	89
66	中川 雅雄	房 総	45	44	89
66	森久保四郎	京 葉	44	45	89
66	菊地 泰司	戸 塚	43	46	89
66	前田 博之	富 士 御 殿 場	43	46	89
78	山本春之助	ノ ー ザ ン 錦 ケ 原	49	41	90
78	長郷 国男	平 塚 富 士 見	48	42	90
78	鈴木 得自	大 厚 木	46	44	90
78	河合 一男	取 手 国 際	46	44	90
78	矢島 晃	同 部 チ サ ン	46	44	90
78	柴崎 行雄	一 の 宮	45	45	90
78	今井 昭一	中 津 川	45	45	90
78	多田 保男	利 根	45	45	90
78	中台 正博	袖 ヶ 浦	44	46	90
78	井草 茂	関 東 国 際	44	46	90
78	中村茂八郎	東 京	44	46	90
78	八木 高男	大 相 模	44	46	90
78	六本木 清	同 部 チ サ ン	44	46	90
78	谷崎 俊雄	千 葉	44	46	90
92	瀬山 栄治	か ず さ	49	42	91
92	水谷 敏	桜 ヶ 丘	48	43	91
92	中村 敏	武 蔵	47	44	91
92	林 吉郎	唐 沢	47	44	91
92	波多野康二	東 京	46	45	91
92	亀井 満夫	富 里	42	49	91
98	山田真幸志	之 台	49	43	92
98	山村 亘	東 京	48	44	92
98	坂入 弘一	入 国 際	48	44	92
98	押尾 朋	千 葉 国 際	47	45	92
98	中西 宏行	千 葉 国 際	47	45	92
98	柳原 義夫	柳 原	46	46	92
98	小林 文雄	嵐 山	44	48	92
98	遠藤 雄司	茨 城	44	48	92
98	和賀 伸夫	東 京 名	44	48	92
107	保田 宏	袖 ヶ 浦	51	42	93
107	岡村 光治	那 須 小 川	47	46	93
107	野村 義弘	飯 能	47	46	93
107	藤田 正明	鴻 巣	46	47	93
107	網中 一郎	霞 ヶ 関	46	47	93
107	野村 健二	東 京	46	47	93
107	白井 義	船 橋	45	48	93
107	宮本 忠志	武 蔵	45	48	93
115	佐藤 清二	浦 和	46	48	94
115	吉沢 友七	東 京 よ み う り	46	48	94
115	大垣 学人	筑 波 学 園	45	49	94
118	石橋 義夫	東 京	48	47	95
118	浅田 勇	青 森	46	49	95
120	岩村 文夫	セ ン ト ラ ル	51	45	96
120	熊谷 中宏	霞 ヶ 関	48	48	96
122	服部 利雄	府 中	56	50	106
失格	川添 勇	八 王 子			
棄権	中馬 正伸	大 相 模			
棄権	武田 金久	千 葉			
棄権	菅 哲政	富 士 箱 根			

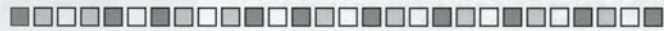


■特別対談

加盟倶楽部の活動状況を聞く

底辺の拡大に注力する山梨県

山梨県代表理事 関東ゴルフ連盟常務理事 稲川廣政氏



第2回 山梨県

インタビュアー・高橋正孝(KGA広報委員長)

写真・塚越克一(KGA広報委員)

〈カット・山縣和彦〉

今回は関東の中では比較的古ルグ場が少なく、またKGA加盟数の少ない山梨県の活動状況を稲川廣政常務理事からうかがいました。インタビューは関東倶楽部対抗決勝競技の当日、競技会場の大利根カントリークラブで行いました。

今年度の倶楽部対抗競技

高橋 早速ですが、まず本年の倶楽部対抗で山梨県は初参加のチームが決勝に進出したことと、それから稲川さんの倶楽部が初決勝進出されたことについてうかがいます。

稲川 やっと念願の決勝進出ができました。

高橋 今回は初尽くしが多いですが、特に強化策などあったのですか。



稲川常務理事

稲川 山梨県では、甲府国際カントリークラブが歴史のある倶楽部で何年も連続決勝進出を果たしていました。ところが今年は想定外の結果だったんですね。結局強いところ

がそうになってしまうと、どこがどう来てもおかしくない状況なんです。

私ども春日居ゴルフ倶楽部の場合、倶楽部活動の運営に関しては理事会が主導しており、倶楽部対抗選手選出は、その下部組織の研修会に任せております。今回も理事会のほうで選手を入れ替えて、結構まとまりができました。特別強化策というのではないのですが、いろいろな努力を積み重ねてみんなの芽が出てきたものと思います。その結果参加13年目で初めて決勝にきました。

それから、今年は境川カントリー倶楽部が初参加で決勝進出を果たしました。初参加で予選2位に入ったのですが、倶楽部対抗のあり方はスコア至上主義じゃなくて、まず親善を目的に参加することによってこういうふうな結果が付いてくるという一つのモデルになった気がしますね。

山梨県の現況

高橋 ところで山梨県固有の問題で幾つかお聞きしたいのですが、まずは山梨県のKGA加盟率と、今後加盟倶楽部が増える見込みについていかがでしょうか。

稲川 現在の加盟率は約50%です。山梨県全体で41のゴルフ場があり、KGA加盟数は21倶楽

部です。加盟率を増やすには、KGAは本来競技団体であるという面を強調しながら、KGAに加盟するといろいろなメリットがあるということを知する必要があります。ただ、ここ3年ぐらいで倶楽部対抗競技の新規参加が3~4チーム増えてきたんですね。今後参加したいという意向の倶楽部もありますので、競技をきっかけに加盟率を増やしていく方針です。

高橋 そういう意味では、倶楽部対抗が最も大きなポイントとなりますね。

稲川 そうですね。倶楽部対抗と関東アマチュア、それから関東シニア、関東女子の参加者が増えるような啓蒙を会員にすることで、本来KGAのあるべき姿をアピール出来ると思います。昔の倶楽部会員は、KGAの競技のことで頭がいっぱいでしたよね。倶楽部対抗に限らず、関東シニアはいつだとか関東アマはどうだとか、そして、関東オープンもありましたしね。みんな倶楽部競技と同じようにKGAの競技に興味を持っていまし

た。山梨県は遠隔地にあるせいもあって、なかなかそのレベルまでは遠かったんです。しかし中央高速が開通して都心まで1時間ちょっとで行けるようになってから、中央との交流が盛んになりました。これからは更に競技を通してKGA全般に意識を持つ様になると思います。

高橋 県内に競技団体はいろいろあると思いますが、競技団体を全部一つに束ねるというような組織についてはもう既に形成されていますか。

稲川 はい。山梨県ゴルフ協会を結成し、事業団体であるゴルフ場協議会、支配人会、プロ会、キーパー会等をまとめました。ただ、アマチュア団体の山梨県アマチュアゴルフ連盟です

が、ここ1つだけがまだ未加盟なんです。それが心残りなんですが、近い将来うまく融合していけると思います。

高橋 そこまで皆さんが集まっているのですから、アマチュア競技団体も参加していただくと非常にいい形になりますよね。

稲川 やはり競技を軸にまとめていかなければいけないだろうと思っております。そのきっかけですが、今までやっていた山梨オープンとは他の競技へのシード権が無いんです。今年からオープントーナメントのフジサンケイを富士桜カントリー倶楽部で開催することになりまして、山梨オープンの優勝者はフジサンケイの本選に、

ストレートで行けることになりました。県内のゴルファーも非常に興味を持っております。山梨オープンの主催は山梨県ゴルフ協会ですが、そういうことが認知されるようになりますことでまわってきます。ですから競技を増やすことで、もう一つ大きい活動ができるだろうと思います。ゴルフ場



団体とアマチュア団体とのゴルフに対する視点がずれると難しいですからね。

高橋 どちらかがちょっと視点を変えるだけで、事態が良くも悪くもなりますね。

稲川 そうなんですね。でも、近いうちに一つにまとまると思います。

高橋 そうですか。それから、ゴルフ練習場の団体も山梨県ゴルフ協会には加入されていますか。

稲川 はい、加入しています。ゴルフ協会の人事が今年2年目の交替期になり、今度の会長に練習場連盟の会長が就任されています。会長職は2年ごとに替えるようにして、留任はしない

ことにしています。練習場連盟とも非常にうまくいっています。

高橋 そうですか、わかりました。もう近々いい形になるということですね。ところでそういったいろいろな活動を支援するのに、どうしても一定の資金が必要ですが、山梨県では費用の捻出をどういう形でおやりでしょうか。

稲川 柱になっていますのは、KGAからの助成金です。あとは各団体から拠出しています。いろいろな時代背景がありますので、金額の多少は別にして、KGAからの助成金は大変ありがたいです。初期の目的通りに使っているつもりです。将来にむけた要望は、以前にKGAやJGAで提案していました入場者割合での拠出金を確保する方法を模索することです。金額は別にしましてもそのような拠出をすることで、ゴルファー1個人が各団体を支えるという考えを定着させないと、なかなか思い切ったゴルファーのための事業はできないだろうという気はします。当分は各ゴルフ場に理解を求めている無理でしょうし、もちろんプレーヤー個々に求めている寄附金は集まりません。しばらくは現状でいいでいくしかないと思っています。

ゴルフ育成

高橋 次に県内のゴルファーの育成の件ですが、特にジュニアの育成についてはどのような形で進められていますか。

稲川 支配人会でジュニア教室を開催しています。ジュニア育成に関しては多分山梨県が1番目か2番目に早く着手したと思います。ただ、ご存じのとおり非常に地形の厳しいところにゴルフ場があり、広い練習場を確保しているのは、県内41倶楽部の内2~3カ所しかないんですね。そこを持ち回りでやるようにして、少しでもみんなに興味を持ってもらう機会を提供しています。現在競技で活躍している2~3人のトップアマも小学生のころは県内のスクールにいた

はずで。それから山梨県プロ会の活動も見逃しません。レッスンを担当してもらっています。上級者には18ホール、その下のレベルは9ホール、全くの初心者には1ホールだけプレーするというので、一応成果は出ています。また親子でラウンドをさせるなどオマケを付けてしています。それからKGAの理事長が提唱されているように、土、日曜日の夕方の開放をお願いしていますが、都心と違い交通の便が悪く、親御さんが送り迎えしないとなかなか来られないため、あまり活用頻度は上がっていない状況です。ただ、支配人会が中心にやっているのに対して事業者側も全面的に応援していますので、一定の成果は出ていると思います。

高橋 支配人会の主催しているジュニアスクールは何会場ぐらいに分かれていますか。

稲川 春と夏に1会場ずつです。練習場のあるゴルフ場でないとできないという制約がありますのでね。それに一度に2会場、3会場までの参加者は集まらないのです。参加者は大体初級から上級まで入れて100人ちょっとでしょうか。春休みや夏休み中ですから、親御さんは早くからスクールの日程をスケジュールに入れて協力体勢にあります。

高橋 ジュニア育成は県によってやり方が違いますけど、各県が結構前向きに取り上げるようになってきたと思うんですね。山梨県は支配人会中心に進められていますが、これが各ゴルフ場で単独開催し、ある程度人が集まるようになれば非常に結構なことですね。

稲川 単独でもやっているんです。ジュニア用のクラブをメーカーから仕入れて用意してあるのですが、まだ底辺が拡大してないので利用者が少ないというのが現状です。

高橋 例えば教育委員会などは、ジュニア育成に関して関心をもっているのでしょうか？

稲川 全く関知しないというか、無関心だろうと思いますね。我々の今後の啓蒙活動が必要と

痛感しております。

高橋 せっかく国体に入っている種目なんですからね。

稲川 そうなんです。国体の選手選抜には非常に興味を示しておりますが、一般のゴルファー育成事業にはわかっている人間が動かないと御興を上げないんだと思いますね。

高橋 そうしますと、山梨県内の中学や高校でゴルフを部活とか体育の科目に採り入れるというケースは今のところまだ無いのでしょうか。

稲川 部活のほうはありますが、ただ授業の一環としてのカリキュラムに入っているところは中高校ではないと思いますね。

高橋 他県の事例ですけど、教育委員会が主催のスクールがあって、将来の目標は体育の科目に入れたいということでした。やはり今の稲川さんのお話のように、教育委員会や関係者自身がそういう意欲を持っていれば結構進みますよね。

稲川 ただ、どうしてもゴルフは一般的に贅沢な遊びという受け止め方が抜けきれないんです。路

地で子供が遊ぶような運動にはなっていないということです。日本におけるゴルフ普及の歴史的な背景があり、教育委員会としては、果たして何の成果があるんだというような考えを持たれているかもしれませんね。山梨県の知事はゴルフがものすごくお上手でして、ゴルフには理解を示しているんです。山梨県ゴルフ協会がまとまって働きかけて、県に採り上げてもらうという可能性はあります。

高橋 他県の教育委員会の話しなんですけど、今は道徳教育を採り上げるのがとても難しいのですが、ゴルフを通してだとマナーだとカエチケ

ットということが伝えられるわけで、他人に対しての思いやりとか、いろいろな秩序などを学ばせることができると考えてゴルフを採り上げたと聞いています。

稲川 本当におっしゃるとおりですね。ただ教える側が果たしてそれを十分に自分のものになっているかどうかということですね。ジュニア教育は大切ですが、その指導者の教育も同様に必要ではないでしょうか。

高橋 そこでは中高校の教員を集めて、中高校教員ゴルフ教室というのを始めて、それからジュニア指導もやろうということになっていました。

稲川 やはりそこですね。山梨の場合には少しばかり人材が不足している感じがします。私がKGAに関与してからは、各委員会に派遣をお願いして、競技委員会、ハンディキャップ委員会、ジュニア委員会等協力委員が少しずつ増えていますが、時にはボランティアで活動する意識に欠ける面もあります。指導者の意識改革が先決ですね。

努力はしているんですがネ…。少しばかり他県よりは遅れていると思います。本来上部団体であるKGA、JGAが一貫した流れで指導者教育をして各県に派遣してくれれば、県は受け入れの素地が十分あるわけです。ジュニア教育を含めてその辺が課題だと思います。

高橋 あまりゴルフ場サイドばかりが熱心になりますと、ゴルフ場のためにやっているのではないと言われてしまいますね。

稲川 そういうこともありますね。そこがアマ団体とゴルフ場側との立場の違いで難しいところですね。山梨県のゴルフ場側は門戸を広く開



放しているつもりなんですネ。

高橋 山梨県だと特に夏がいいシーズンで、例えば埼玉県あたりでは、夏はむしろオフですよ。そうすると夏休みのときに午後開放してもらうことは割合に簡単なんです。

稲川 山梨の場合、地域的に冬がよかったり、夏がよかったり一律にはいかない難しい面があります。

高橋 その辺が確かに難しい点ですね。ところで、女性のゴルフに対する参加率は一般的に13%ぐらいですけど、特に女性のゴルファーを啓蒙するとか、ゴルフへの参加率を上げるための何かお考えになっていますか。

稲川 はい。具体的には各ゴルフ場がレディース施設のリニューアルとか、拡充などを行っていることに加えて、レディース会などの競技を盛んにしています。非常に男性が強い県ですから、今までは男性中心に開催していたものを、少しずつ女性の大会を増やしているという状況です。ですから最近では結構盛んですよ。

高橋 そうですね、山梨県では女子プロゴルフ協会のレギュラートーナメントもありますね。

稲川 はい。プロから一般のビギナーまで、そしてジュニアまで、女子はそれほど人数がいなのですが一つのラインで盛んに活動しています。それに指導者とかリーダーがいて、今のところまあ良い状況にあります。



高橋広報委員長

高橋 では、だいぶ競技参加者も増えていますか。

稲川 ええ、大幅に増えています。うちの倶楽部の女子委員長には、「春日居は女子とシニアが盛んです

ヨ！」なんてよく言われていますけれども（笑）、そのとおりです。女子とシニアは結構盛んに競技をやっています。

高橋 数年前に関東ゴルフ連盟の内部で、女子の倶楽部対抗も考えたらどうだという意見が出まして、各倶楽部にアンケートをとった結果、費用的な負担も大きいし、まだ時期が早いのではないかという話になりましたよね。その後も報知新聞が主催する唯一の関東地区での女子倶楽部対抗ですが継続開催されています。その辺についてはどうお考えですか。

稲川 数年前よりかなり選手層も厚くなり、あとはそういう機運が高まればかなり現実性を帯びてくるだろうと思いますね。報知新聞というどうしても冠があるので、抵抗感を持たれることもあろうかと思いますが、特にスミ分けは必要ないと思います。ゴルフ振興のためですから。山梨県でも男子の倶楽部対抗の時期になると、女子はどうしてないのかという意見は当然出ますし、かといって選手と言えるほどの実力者がそろっているかという、各倶楽部にある程度平準化するのはこれも難しいところです。

私が今山梨県のいろいろな会の代表をしていますが、これからの方針として、山梨県だけの女子倶楽部対抗をやろうという私案もっています。又、県内だけの倶楽部対抗もKGAのとは別の視点で選手構成をして開催しようと考えております。

高橋 県での一つの基礎ができ上がらないと難しいですね。

稲川 そういうことですね。山梨県では41倶楽部は無理としてもKGAに加盟している21倶楽部では、4〜5人ずつ女子選手を選抜出来ると思います。ただ、スクラッチでやるだけの腕がどうかということで、最初はアンダーハンディも考慮に入れる必要がありますネ。

高橋 高齢化に伴ってゴルファーも年齢が高くなってきましたが、特にグランドシニアとかシ

ニアに対して県全体での優遇策とかはお考えになっていますか。一応利用税は70歳以上のかたは免税になったわけですけど。

稲川 各ゴルフ場独自でいろいろ優遇策は出しておりますが、効果のほどはどうでしょうか？利用料金はシニアに限らず下げてますので…。何か他県の良い事例があれば、我々も参考にしようと思います。

●●●KGAへの要望

高橋 それから、KGAに対しての要望はいかがでしょうか。最近よく聞きますのは、競技参加料は一部は下がりましたが、まだ高いのではないかなという意見がありました。特に競技を中心とした何かご要望がございましたら。

稲川 競技参加者が増えているのは、他県に劣らず山梨県でも同じです。山梨の中だけで井の中のカワズ的な発想と、それから外に行くのがおっくうだという考えがあります。競技を中心にしてKGAに望むといっても、山梨県ゴルファーの意識改革を我々がしていくことのほうが先決だろうと思います。数年前まではKGAの競技の開催を受けていましたが、継続的に回してもらえばゴルファーの意識も又、違ってくると思います。県の事情もいろいろありますので、コースを一本釣りされても県全体のいいバランス構築にはならないので、その辺を工夫していただければ幸いです。

高橋 そうですね、機会均等ということもありますしね。

稲川 その辺の改革を是非お願いできればという気はしますよね。

高橋 それから、アンダーハンディ競技ですが、これも一時期、参加者を集めるのになかなか苦勞なさったと思いますが、最近はいかがでしょう。



稲川 1都10県の中で、3番目か4番目ぐらいのエントリー数でしょう。新潟、長野、山梨、千葉など多い方ですね。山梨は大体90〜100名ぐらいは毎年参加していますから、まあ合格点に近いでしょう。ただ今年はどうでしょうか？参加条件のJGA小数点ハンディが理解されておりませんので…。山梨はきっと激減すると思いますが。今後はKGAとは別に、県としてのアンダーハンディ競技をハンディキャップの啓蒙のためにやるのがいいのかなとは思っています。

高橋 その他KGAの競技運営等についてうかがいます。まず倶楽部対抗ですが、最近人数面で決勝競技1チーム当たりの人数を変えたらどうか、予選競技については6人のうち5人のスコアをとったらとの意見があるようです。今後意見集約を競技委員会ですでに考えていると思いますが、山梨県としてはいかがでしょう。また、決勝参加数が6チームに1チーム割合での参加とか、そういう意見も出ていますね。

稲川 山梨県の要望としては、数年前に改革委員会に要望を出しましたが、参加チームが少ないので、予選は県独自の参加者数、要は6人に縛られず7人でも8人でも出て、※印をつけさせてほしい。その理由は、6人だと70〜80人の参加者で、1日をどう長く使おうかというほうに神経を使ってしまうんですね。それを8人にしてもらって、普通の県のように120〜130人の競技者にしたいというのと、もう一つは、選手層

が薄いので選手を育成するために※印をつけさせてもらえれば、来年のために度胸を付けさせることが可能です。今の状態だとそういう余裕が全くないわけですね。3年前そういう要望を出して、いつか通ったんですよ。1年でまたそれがもとへ戻ってしまって現在に至っています。倶楽部対抗は親善が大きな目的と位置づけていますから、県からとりあえず決勝に2チームを出し、こういう雰囲気（インタビュー当日が決勝日でした。事務局 [注]）を味わってもらうことで、KGAの事業も選手が良く理解するようになる。ただ、決勝は今の条件で進出割合を決めているのではないのでしょうか？ 弱小県ですから、決勝の条件は特にこだわりません。高橋 それ以外には何か、全般的な運営面でのKGAに対しての要望はございますか。

結び

高橋 承りたい内容は全てお話いただきましたが、何か稲川さんとして話しておきたいことはございますか。

稲川 いえ、いえ、うるさい奴と思われてますのでネ（笑）。でもせっかくですからあえて言うならば、KGAはJGA加盟倶楽部数の3分の1を占めている地区連盟なんですネ。その意識で全国をリードするという気持ちをKGAの役員に限らず各分科委員会の委員の方々も持っていたらと常々感じております。これは私の考え方ですが、関西と関東にそれぞれの浪花文化と江戸文化というような固有の文化があったように、ゴルフ界でも違う方法や行き方をしているのだと思うんです。東西互に主張を認め合い、入口論で頓挫するのではなく、その都

度必要な事態を具現化していけば日本のゴルフ界は発展すると思っています。そういう意味ではKGAは独自路線を行くぐらいの心意気で強いKGAになってほしいし、それで全体をリードしなければなりません。他の地区連盟もそれを望んでいるんだろうと思いますね。そしてボランティアの真の意義を理解し持つことも大切です。委員のための委員会ではなく役員のための理事会でなく、全ての事業はゴルファー、加盟倶楽部のためと位置づけるべきと考えます。要は目的と手段を取り違えないことが大切です。高橋 それから、KGAと他の地区連盟との交流がなさすぎますよね。

稲川 そうですよ。役員は当然ですが事務局どうしの情報交換はどうなっているんでしょうネ。

高橋 だから、お互いの立場というのがよくわかるような交流を普段したほうがいいのではないかと思いますね。今はJGAの会議などの場ではありませんからね。

稲川 やはりKGAがリーダーシップを持って、他の7地区連盟と会食したり、事務局も含めて役員コンベンなどを開催したりするのもいいことだと思います。高橋委員長の広報委員会主導で是非実現していただければありがたいのですが。

高橋 親善競技などもいいですね。

稲川 そうですよ。そういう事の積み重ねで日本のゴルフ界は更にまとまっていくことだろうと思います。

高橋 是非今後このような面にもご意見を出していただきゴルフ界のスムーズな運営に貢献していただきたいと思います。

稲川さんには、山梨県から出場した2倶楽部への応援の合間に貴重なお時間をいただき、お話を承りました。大変ありがとうございました。どうか、本日の倶楽部対抗競技で山梨県選手の皆様のご健闘を期待しております。

2度目の優勝を飾った 東千葉カントリー倶楽部

最終ホールのバーディ2発で7打差を劇的逆転

文・森口静彦、西田美千子（KGA広報委員）
写真・伊室一義（KGA広報副委員長）、片山晴美、舟橋一芳、塚越克一、増田 収（KGA広報委員）



優勝した東千葉チーム。上は優勝杯を受ける大蔵キャプテン

記録を更新した出場チーム数

本年度の関東倶楽部対抗は第59回大会だ。60回の節目を来年に控えて、過去最高の341倶楽部が参加。予選出場者は過去最高の2,046名となった。決勝出場倶楽部も過去最高の50チームだ。

記録更新はまだある。倶楽部対抗につきもののギャラリーの人数も例年に比べ圧倒的に多かった。プレー終了後の表彰式に出席した選手、関係者等の数も過去に見られないくらい大勢。会場は立錫の余地もないくらい。広報カメラマンは高い足場に上らないと撮影困難な有様であ

った。KGAのゴルフの祭典として、誠に喜ばしい現象である。

関東倶楽部対抗には独特の雰囲気がある。クラブハウスのベランダに出場倶楽部の旗50本が揃い、選手控えのテントには応援団がご馳走、飲み物を山と積んで選手にサービスする。テントに入り切れない人達は、近くの芝生にシートを敷いて、和やかに談笑している。倶楽部を代表して晴れの舞台でプレーできるという選手たちの誇り、選手たちを応援する所属倶楽部の人達の熱意、これらが混ざりあって広い会場にはエネルギーが溢れていた。



メダリストに輝く左から豊島選手、岩井選手、宮選手



特別表彰(決勝進出20回) 水戸・ゴルフクラブの根本キャプテン



団体戦だけにスコア確認も慎重に



スタートホール。平山選手(立川国際)のティーンショット

■イーグルを達成した鷹野修介選手 (ハケ岳高原)

スターティングホールでは、ギャラリーが選手たちを声援して送り出している。また、最終ホールのグリーンでは選手のバッティングを遠巻きにして、ナイスプレーに拍手を惜みず、暖かく迎えている。

「入った!」と一斉に大きな歓声が西18番(407 yds: par 4) グリーンで上がった。チップイン或いはロングパットが入ってのバーディ? かと18番グリーンに駆け付けると、Aクラス鷹

野修介選手(ハケ岳高原)がカップからボールを拾いあげてニコリ。パッフィで打った225ヤードの第2打が入って、イーグルを達成したのだ。これが、本日唯一の特筆大書すべきイーグルであった。

試合の経過もスリリングそのもので、「ゲームは最後まで諦めるな」だ。前半の9ホールを終えた段階で、前年度優勝の総武CCが14オーバーの230打でトップ。以下、武蔵CC1打差、富士チサンCC2打差、習志野CC5打差、清川CC6打差、新千葉CC7打差、相模原GCと東千葉CCが同スコアの8打差で並んだ。

■異色の出場チームを拾う——境川カントリー倶楽部—— おめでとう! 初参加で決勝進出

西田美千子(KGA広報委員)

今回、境川カントリー倶楽部は初出場で見事決勝に進出しました。この快挙の裏にどんな苦心談が秘められていたか、そのへんにスポットを当てて話を聞いてみました。

関係者のみなさんが、口を揃えていうのは、研修会会長が率先して力を入れた技術面の強化、代表選手たちは、キャプテン以下チームワークを引き出して、結束力を高め、倶楽部側は財政面を含め、組織力の強化に努めるなど、三位一体の合力の結果が、決勝進出の最大の理由だといっていま

す。とくに大野キャプテンは「気楽に楽しもう」と選手たちのプレッシャーを和らげるのに一生懸命だったそうです。そして来年は予選会場だけに、ことしの経験を生かして、さらに一層の飛躍を期したいと自信も生まれてきたようです。



左より、成井競技委員、鶴田支配人、芦沢研修会会長



自チームの選手に声援を送る女性応援団



スコアを見て一喜一憂する応援団

■前年度逆転負けの東千葉カントリー倶楽部が劇的逆転勝ち

朝の内、曇空だったのが、午後になって青空さえ広がり始めたのは裏腹に、フェアウェー上の戦況は、後半の9ホールになって俄かに荒れ模様となってきた。前半トップで折り返した総武が崩れ、後半30オーバーの246、合計476打を叩いて優勝争いの圏外へ。残った7チームは武蔵の231打をトップに相模原と東千葉238打の7打差の中で混戦状態。トップを走る武蔵は後半236打、合計467打。一方、東千葉は前年度

の本大会で前半トップの230打で折り返しながら、後半9ホールでライバル総武に逆転された苦い経験がある。しかし、今大会は10番スタートの最終組Aクラス金子選手とBクラス室野選手が最終ホールを残して武蔵に1打ビハインド、覇権争いは最終ホールに持ち越された。そして、その結果は? 金子、室野両選手が、何とそれぞれの西・東の最終ホールに於いて、奇しくも同時にバーディを取るという快挙を成し遂げたのだ。その結果、東千葉は後半を228打で上がり、合計466打。7打差を挽回して、見事に武蔵を逆転、1打差で優勝の大槓を手にした。正



武蔵カントリークラブ 荻野キャプテン



習志野カントリークラブ 上辻競技委員長



新千葉カントリー倶楽部 伊賀キャプテン

イーグルのボールを拾い上げたニコリ 参加各チームの旗も、こしは最高の50本を数えた
する鷹野選手（ハケ岳高原）

確な記録はないが、7打差をひっくり返しての
逆転優勝は、恐らく本大会史上、初めてではな
いだろうか。

東千葉の大蔵満彦キャプテンは「今回が8回
目の決勝出場で、2回目の優勝を手にした。
メンバーは前回優勝（平成15年）のときと同
じ。チームは、ゴルフの腕だけではなく、全体
の和を第一に、先輩、後輩がお互いに力を合わ
せ、素晴らしい雰囲気を持っている。倶楽部の
会員、従業員も大いに応援してくれており、そ
の結果が優勝に繋がった」と語る。今回は、キ
ャディーさん達30名が大挙して応援に駆け付け
たという。

大会成功の影に開催コース 大利根カントリークラブのご苦労

大会成功の裏には、開催コース大利根CCの
大変なご苦労がある。久保田支配人と宮本グリー
ンキーパーに伺った。同倶楽部は今回が5回
目の開催であるが、さらに前年度の大会を見学
し、今日に備えた。春先の降雪と低温で芝の芽
立ちが悪く、コースコンディション作りには苦
労したと言う。また、キャディー教育、650台
の駐車場確保、朝6時から朝食の手配等々周
到な準備をされた由。お陰で、天候にも味方さ
れ、記録的な成功裡に大会を終了することがで
きたのは、誠にご同慶の至りであった。

平成17年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

●開催日6月20日(月) 開催コース 大利根カントリークラブ

Aクラス 西コース 6,919ヤード パー72

Bクラス 東コース 7,024ヤード パー72

1位 東千葉カントリー倶楽部 スコア合計466

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
山田 勉	79	39	40
砥田 政弘	80	38	42
金子 航二	83	40	43
Bクラス			
豊島 豊	70	35	35
三橋 好文	83	44	39
室野 歩	71	36	35

(チーム平均ストローク=77.67)

2位 武蔵カントリークラブ スコア合計467

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
宮坂 文一	81	39	42
森永 正雄	78	41	37
山口 現朗	85	42	43
Bクラス			
浅川 隆彦	73	38	35
小林 勝美	75	38	37
運実 伸彰	75	36	39

(チーム平均ストローク=77.83)

3位 習志野カントリークラブ スコア合計469

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
大武 正	92	47	45
高橋 功	79	38	41
岩井 正一	72	37	35
Bクラス			
岡本 聡	75	40	35
黒河内 聡	81	41	40
宮 辰夫	70	33	37

(チーム平均ストローク=78.17)

4位 新千葉カントリー倶楽部 スコア合計471

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
土屋 貞雄	80	39	41
大山 四郎	77	39	38
松井 秋	80	38	42
Bクラス			
金岡 浩久	81	39	42
今関 和宏	77	39	38
伊藤 和久	76	38	38

(チーム平均ストローク=78.50)

5位 清川カントリークラブ スコア合計472

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
大串 清司	87	44	43
斎藤 正夫	80	41	39
藤崎 正一	78	38	40
Bクラス			
石井 保行	74	36	38
松村 了介	80	39	41
松田 永基	73	37	36

(チーム平均ストローク=78.67)

6位 相模原ゴルフクラブ スコア合計472

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
伊藤 仁	74	38	36
河本徳三郎	82	40	42
白井 旭	83	41	42
Bクラス			
森田 和之	81	41	40
日比生幸治	77	38	39
越前栄治郎	75	36	39

(チーム平均ストローク=78.67)

7位 富士サンカントリークラブ スコア合計474

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
小林慎一郎	74	36	38
深澤 貞夫	80	37	43
佐野 英	86	45	41
Bクラス			
渡辺 元嗣	75	38	37
中井 教博	81	40	41
渡辺 昭男	78	39	39

(チーム平均ストローク=79.00)

8位 総武カントリークラブ スコア合計476

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
上重 修	80	42	38
白井 勉夫	77	38	39
中川 利貞	77	38	39
Bクラス			
杉山 聡	77	37	40
浮ヶ谷信夫	82	38	44
伊藤 尚	83	43	40

(チーム平均ストローク=79.33)

9位 扶桑カントリー倶楽部 スコア合計478

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
石田 俊男	86	44	42
寺田 清一	81	41	40
山下 勝紀	77	40	37
Bクラス			
染谷 健市	80	38	42
斎藤太津規	80	40	40
日暮 俊明	74	39	35

(チーム平均ストローク=79.67)

10位 鬼怒川カントリークラブ スコア合計483

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
斎藤 兼光	85	40	45
杉山 利行	78	37	41
山崎 広司	84	45	39
Bクラス			
高久栄司郎	82	41	41
藤咲 光司	76	39	37
佐藤 定雄	78	38	40

(チーム平均ストローク=80.50)

11位 千葉カントリークラブ スコア合計483

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
伊東 祐次	85	44	41
渡辺 圭介	78	39	39
新村ヨシオ	74	38	36
Bクラス			
鈴木 重男	79	38	41
飯塚 守	85	45	40
館浦 圭	82	40	42

(チーム平均ストローク=80.50)

12位 十日町カントリークラブ スコア合計484

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
福原 政文	80	40	40
須長 剛一	82	46	36
小野 泰司	81	40	41
Bクラス			
鈴木 史雄	80	41	39
松本 正之	87	41	46
関 忠嗣	74	35	39

(チーム平均ストローク=80.67)

13位 那須小川ゴルフクラブ スコア合計484

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
見山 寛平	83	41	42
加藤 昭	86	46	40
橋山 儀男	79	44	35
Bクラス			
田村 次郎	79	39	40
斎藤 修一	78	39	39
半田 安則	79	40	39

(チーム平均ストローク=80.67)

14位 水戸・ゴルフ・クラブ スコア合計485

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
平澤 良雄	83	44	39
小野 進	89	46	43
中村 清	79	42	37
Bクラス			
河内 喜文	78	39	39
浅山 清	76	37	39
入野 康昭	80	41	39

(チーム平均ストローク=80.83)

15位 大利根カントリークラブ スコア合計485

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
林 恒男	83	42	41
生田 憲一	81	39	42
赤澤 正雄	83	44	39
Bクラス			
竹村寅一郎	81	39	42
杉山 和正	80	43	37
中川 利一	77	40	37

(チーム平均ストローク=80.83)

16位 大厚木カントリークラブ スコア合計486

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
平野 洋一	88	43	45
井上 行儀	87	39	48
佐藤 正一	85	44	41
Bクラス			
山本 秋夫	78	38	40
佐藤 和夫	72	38	34
秋山 光司	76	39	37

(チーム平均ストローク=81.00)

17位 東京五日市カントリー倶楽部 スコア合計486

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
吉田 幹夫	83	41	42
来住野秀夫	86	42	44
富澤 良二	83	42	41
Bクラス			
澤田 信弘	79	40	39
和田 雅英	76	37	39
和田 博	79	39	40

(チーム平均ストローク=81.00)

18位 袖ヶ浦カントリークラブ スコア合計486

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
林 安雄	82	42	40
阪田 雅男	75	36	39
仲松 政美	85	43	42
Bクラス			
柳澤 信吾	83	43	40
水上 長男	77	39	38
市川 義久	84	44	40

(チーム平均ストローク=81.00)

19位 長野カントリークラブ スコア合計487

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
宮澤 亮三	82	40	42
藤原 力	82	40	42
黒岩 護	83	41	42
Bクラス			
松山 隆	82	41	41
伊藤 雅章	80	42	38
広田 文雄	78	41	37

(チーム平均ストローク=81.17)

20位 立川国際カントリー倶楽部 スコア合計488

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
山本 順平	88	43	45
山本 良雄	84	43	41
斎藤 孝彦	79	37	41
Bクラス			
久保田俊昭	82	43	39
橋 秀昭	78	41	37
平山 康則	78	38	40

(チーム平均ストローク=81.33)

21位 茨城ゴルフ倶楽部 スコア合計488

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
沢登 裕文	84	40	44
泰山 義基	84	42	42
富田 文雄	77	36	41
Bクラス			
相馬 聡夫	80	41	39
根津 顕光	83	42	41
田中 剛之	80	39	41

(チーム平均ストローク=81.33)

22位 ファイブエイトゴルフクラブ スコア合計489

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
伊藤 安雄	80	46	44
向井 捷人	86	44	42
連村 正治	87	46	41
Bクラス			
半田 裕一	74	38	36
長谷川 仁	79	37	42
日向 和弘	73	35	38

(チーム平均ストローク=81.50)

23位 佐野ゴルフクラブ スコア合計489

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
真下 政夫	83	42	41
荒川 隆男	90	46	44
石川 清巳	78	41	37
Bクラス			
栗原 誠	81	42	39
和泉 一夫	80	42	38
野口 政夫	77	47	30

(チーム平均ストローク=81.50)

24位 東京ゴルフ倶楽部 スコア合計489

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス			
都倉 俊一	80	39	41
馬場俊之輔	81	37	44
藤橋 孝	83	42	41
Bクラス			
勝又 正浩	77	40	37
菅田 正道	81	40	41
高屋 敏武	87	43	44

(チーム平均ストローク=81.50)

25位 東名厚木カントリー倶楽部 スコア合計490

氏名	合計	アウト	イン
大野 忠夫	88	50	38
伊藤 宗敏	82	42	40
藤澤 正広	81	38	43
田代 猛	73	36	37
大城 哲男	80	42	38
寛木 実	86	46	40

(チーム平均ストローク=81.67)

26位 南摩城カントリークラブ スコア合計491

氏名	合計	アウト	イン
安藤 正義	83	44	39
斎藤 征修	88	41	47
遠藤 斌	78	38	40
深澤 潔	87	40	47
鈴木 栄一	81	39	42
白石 哲也	74	37	37

(チーム平均ストローク=81.83)

27位 沼津ゴルフクラブ スコア合計492

氏名	合計	アウト	イン
芦川 豊	92	44	48
真野 勝俊	88	41	47
嵯峨 義一	82	40	42
中川 雅典	77	39	38
嵯峨 真一	76	38	38
太田 敏彦	77	38	39

(チーム平均ストローク=82.00)

28位 常盤カントリー倶楽部 スコア合計492

氏名	合計	アウト	イン
村上 等	82	41	41
仙波孝日昌	89	45	44
小松崎尊久	85	43	42
中村 成宏	78	38	40
永岡 順之	81	41	40
吉田 武昭	77	37	40

(チーム平均ストローク=82.00)

29位 太田双葉カントリークラブ スコア合計492

氏名	合計	アウト	イン
井出 茂	84	43	41
木村 一男	85	41	44
原 重男	83	42	41
金井 正樹	79	42	37
河野 光宏	79	40	39
中本 智大	82	42	40

(チーム平均ストローク=82.00)

30位 宇都宮カントリークラブ スコア合計496

氏名	合計	アウト	イン
森田 浩敏	83	41	42
落合 榮夫	91	47	44
中村 英一	81	41	40
堀山 博之	78	40	38
竹中十美雄	83	41	42
増田 洋介	80	41	39

(チーム平均ストローク=82.67)

31位 伊香保カントリークラブ スコア合計497

氏名	合計	アウト	イン
菊池 宗雄	76	38	38
星野吉之助	91	48	43
石原 純一	84	41	43
中島 幸和	81	44	37
横田 俊雄	87	45	42
清水 聖二	78	38	40

(チーム平均ストローク=82.83)

32位 玉造ゴルフ倶楽部 スコア合計498

氏名	合計	アウト	イン
本城 誠	83	42	41
板垣 和男	89	47	42
鈴木 宏彦	84	42	42
関 秀勝	81	43	38
有馬 昌宏	75	37	38
川口 三男	86	42	44

(チーム平均ストローク=83.00)

33位 芳賀カントリークラブ スコア合計498

氏名	合計	アウト	イン
山内 武博	79	38	41
高松 英明	80	39	41
関口 幸雄	81	39	42
望月 孝廣	87	43	44
橋本 敏久	91	47	44
田中 真	80	39	41

(チーム平均ストローク=83.00)

34位 諏訪湖カントリークラブ スコア合計498

氏名	合計	アウト	イン
高林 健吉	82	37	45
鈴木 生雄	83	38	45
鈴木 公太	83	42	41
中村 仁士	85	43	42
森森 勇一	82	44	38
茅野 弘喜	83	43	40

(チーム平均ストローク=83.00)

35位 鴻巣カントリークラブ スコア合計499

氏名	合計	アウト	イン
今井 一男	91	46	45
湯田 勝雄	85	42	43
三塚 風紀	77	39	38
荒井 貞雄	73	36	37
三浦 恵	88	40	48
山内 善正	85	47	38

(チーム平均ストローク=83.17)

36位 伊香保国際カントリークラブ スコア合計502

氏名	合計	アウト	イン
樋口 義一	83	40	43
木暮 喜久夫	89	41	48
金子 金平	80	42	38
小池 忠彦	85	42	43
板垣 道也	80	41	39
斎藤 新治	85	43	42

(チーム平均ストローク=83.67)

37位 真名カントリークラブ スコア合計502

氏名	合計	アウト	イン
佐々木 徹	78	38	40
森 文徳	80	40	40
山下 忠次	93	49	44
関 勝三	84	46	38
斎藤元志郎	83	41	42
中村 一	84	45	39

(チーム平均ストローク=83.67)

38位 我孫子ゴルフ倶楽部 スコア合計504

氏名	合計	アウト	イン
菅 真知	91	48	43
富田 浩安	83	41	42
渡辺 博	85	42	43
鎌倉 治男	83	41	42
小川 晃弘	80	45	35
川上 善弘	82	41	41

(チーム平均ストローク=84.00)

39位 埼玉国際ゴルフ倶楽部 スコア合計504

氏名	合計	アウト	イン
木村 芳雄	83	42	41
工藤 利明	82	41	41
駒井 茂春	79	40	39
高橋 幸栄	87	45	42
飯塚 忠夫	88	47	41
宮本 匡泰	85	44	41

(チーム平均ストローク=84.00)

40位 セベパレステロスゴルフクラブ スコア合計505

氏名	合計	アウト	イン
菅原 薫	85	42	43
澤田 富之	85	43	42
寺田 素夫	89	46	43
石川 定男	81	39	42
二宮 正浩	86	44	42
谷口 英樹	79	37	42

(チーム平均ストローク=84.17)

41位 下田城カントリー倶楽部 スコア合計506

氏名	合計	アウト	イン
長谷川 毅	84	37	47
佐藤 中彦	90	45	45
玉垣 隆一	94	46	48
押見 正司	76	37	39
小川 勝雄	82	39	43
斎藤 公基	80	40	40

(チーム平均ストローク=84.33)

42位 紫塚ゴルフ倶楽部 スコア合計508

氏名	合計	アウト	イン
落合 祐一	89	46	43
佐藤 次男	90	44	46
大島 義和	86	42	44
広田 剛治	83	40	43
戸原 康生	83	41	42
小川 雅規	77	38	39

(チーム平均ストローク=84.67)

43位 赤城国際カントリークラブ スコア合計508

氏名	合計	アウト	イン
長津 照味	89	46	43
小林 博行	84	43	41
関口 茂	97	47	50
武井 茂幸	78	39	39
設楽 守廣	82	41	41
関 徹也	78	38	40

(チーム平均ストローク=84.67)

44位 春日居ゴルフ倶楽部 スコア合計510

氏名	合計	アウト	イン
岡部 敏男	87	44	43
安部 俊人	80	41	39
下里 裕	91	42	49
矢島 茂	85	45	40
佐野 三彦	85	45	40
岩間 靖典	82	41	41

(チーム平均ストローク=85.00)

45位 御殿場ゴルフ倶楽部 スコア合計512

氏名	合計	アウト	イン
橋本 克己	80	37	43
内田 良雄	93	48	45
藤原 敏男	86	45	41
徳永 博明	80	37	43
松浦 秀亮	85	44	41
金田 義隆	88	46	42

(チーム平均ストローク=85.33)

46位 堤川カントリー倶楽部 スコア合計512

氏名	合計	アウト	イン
鹿野 行伸	89	43	46
足立 利雄	87	44	43
大野 弘治	86	41	45
横内 広佳	81	41	40
萩野 英治	84	42	42
渡邊 栄孝	85	41	44

(チーム平均ストローク=85.33)

47位 川越カントリークラブ スコア合計513

氏名	合計	アウト	イン
林 俊明	91	47	44
鎌池 宏海	90	46	44
斎藤洋一郎	83	42	41
竹内 正己	81	42	39
林 一夫	84	43	41
小島 貢	84	43	41

(チーム平均ストローク=85.50)

48位 日本海カントリークラブ スコア合計517

氏名	合計	アウト	イン
生原 慎司	79	39	40
東城 雅夫	84	41	43
古山 勝	88	45	43
新村 照平	95	49	46
三綱 正人	82	42	40
瀬賀 誠	89	44	45

(チーム平均ストローク=86.17)

49位 ハケ岳高原カントリークラブ スコア合計518

氏名	合計	アウト	イン
藤野 修介	89	45	44
菊池 龍吉	92	47	45
林 満	83	42	41
宮沢 修次	88	42	46
金田幸一郎	86	43	43
内藤 久昭	80	39	41

(チーム平均ストローク=86.33)

50位 米山水源カントリークラブ スコア合計519

氏名	合計	アウト	イン
藤澤龍次郎	88	46	42
阿部 勉	87	42	45
佐藤 拓山	90	44	46
後藤 敏彦	85	44	41
佐藤 武	84	43	41
青木 浩一	85	41	44

(チーム平均ストローク=86.50)

Aクラス メダリスト

岩井 正一/習志野カントリークラブ	72(37・35)
-------------------	-----------

Bクラス メダリスト

宮 辰夫/習志野カントリークラブ	70(33・37)
豊島 豊/東千葉カントリー倶楽部	70(35・35)

「厳しさ」を克服し2アンダーで永野が勝つ

——勝って学ぶもよし、負けて学ぶもよし 希望は常に未来にある——

文・杉山通敏 (KGA広報委員)
写真・増田 収 (KGA広報委員)

●「誤球」の教訓

横浜気象台発表による7月29日正午の気象状況は〈天候晴れ、気温30.7度、湿度62%、気圧1006hpa、風向南南東、風速4m/s〉。まさに盛夏であった。夏は少年少女のゴルフシーズンである。

コースに「出陣」する前に、冷房の利いたクラブハウスで大鷲俊朗ジュニア育成委員長に話をきいた。

「倶楽部の皆さんのご協力で今年はここ、相模原ゴルフクラブ東コースでジュニアの試合を初めて開催することが出来ました。コースに出てみれば分かることですが、距離は長いし、フェアウェーは狭いし、ラフは深いです。8月に日本オープンの最終予選が、やはりここで行われるので厳しいコースセッティングになっています。ジュニアには厳しいかもしれませんが、いままでに経験したことのない厳しいコースで決勝競技をするのは、今後のゴルフにきっと役立つと思います。チャンピオンシップを争うにふさわしいコースで精一杯、健闘していますよ、みんな」

話をきいたあと、何はともあれコースに出た。インスタントの〈男子15歳～17歳の部〉の

6組目(全部で8組、アウトスタートは11組)がスターターの川島英雄ジュニア育成副委員長から注意を受けていた。

「各人それぞれ、ボールのメーカーと番号を確認し合ったうえ、自分のボールであることが分かるようにマジックなどでしっかりと印しを付けておくこと。昨日の教訓を忘れないで下さい」

昨日の教訓というのは「誤球」であった。ティーショットを深いラフに打ち込み、探した。メーカーも番号も自分の使用球と同じ球が見つかった。そのボールを打ち、先へ歩いて行くとまた、同じメーカー、同番号のボールが見つかった。どちらかがロストボールなのだが、確認が出来ない。どちらにも「印し」が付いてないからだ。やむなく両球をプレーしてホールアウトし、競技委員の裁定を待った(ルール3条3項)。事実関係を確認し、後で見つかった球が正球であることがわかり、初めに打った球は誤球となり、ペナルティ(2打)が付加されたということだった。

当人には痛恨のペナルティであったろうが、それがルールなのだから従わざるを得ないのだ。そして改めて、〈正球をプレーする責任はプレーヤー自身にあり、各プレーヤーは自分の球に識別マークを付けておくべきである〉という「勧告」が、ルール(12条2項)に明記してあることを思い知ったにちがいない。これからの長いゴルフ人生に、その「教訓」が生かされれば、一時の痛恨事も



熱戦の前に清々しい笑顔を見せる男子15歳～17歳の部最終組の4選手



12歳～14歳の部にはスコアラーとしてキャディさんが同行

不幸中の幸いとなり、2度と同じ過ちをしないであろう。もって他山の石とするべきか。過ちが知恵をみがく助けになることを忘れないでもらいたいものだ。

●「暑い、長い、狭い、深い」の四重苦

コースに出ると、なるほど「フェアウェイは狭い。試みに1番と10番のティーショット落地下地点付近の横幅を歩測すると、15から17ヤードほどしかない。ラフはいわゆる、ファーストカットがなく、しかも深いので、フェアウェイを外すと常に、ロストボールの可能性がある。実に厳しい。その厳しさから何かを学び取り、少年少女をたくましくするに相違ない。挫けるなよ。めげるなよ。ガンバレ、ガンバレ。

ジュニア競技はセルフバッグである。ほとんどの選手が櫛掛けのバッグを背負い、暑さなどわれ関せずといった風情「厳しさ」と戦っていた。数ホールを下検分しただけで、観戦子のウェアは汗でベトトリと肌にとわりつき、不快指数はうなぎ昇り。昼食後は事務局の手配で、カメラ担当の増田収広報委員と共に乗用カートに乗り、〈男子15歳～17歳の部〉のトップグループを追った。

初日の成績は永野竜太郎、宇佐美祐樹両選手がパープレーの72でトップ。次いで日原篤志、高柳直人両選手が74。この最終組がインにターンしたところで、アウトのスコアを確める。永野34、宇佐美41、日原38、高柳40。通算2アン



深いラフから力強いリカバリショット 永野選手



ボール探しに苦労する選手

ダーの永野が独走態勢に入りつつあった。随伴の嶋田憲人ジュニア育成副委員長に永野のプレーぶりを尋ねた。



深いラフに沈むボール

「アウトは2バーディー、ノーボギー。ほとんどのホールでフェアウェイをキープしていたし、パットもうまい。厳しいコースセッティングなのに、危げないゴルフをしています。私も過去に何回か、ここで試合をしたけれどこんなゴルフはした覚えがありません」

感心すること、しきりだった。「危げないゴルフ」はインでも崩れない。唯一、ピンチらしいピンチになったのは、17番（534ヤ、パー5）だった。ティーショットを大きく左へ逸らし、隣接の15番ティー脇へ飛ばした。ボールは細い枝が密になった小灌木の中にあつた。アンプレヤブルを宣言し、15番ティーにドロップ。ウェッジで高々と打ち上げた。ボールの行く手を遮る高い木を飛越したが、フェアウェイまでは脱出せず、左のラフ。グリーンまでの距離はまだ、150ヤードほどあった。そのショットは悪い当たりではなかったが、ラフの芝が、ヘッドにからまりグリーン右手前のバンカーに消えた。

そのバンカーショットをピンハイ2メートルほどに寄せて1パットで収めた。実打が5。それにアンプレヤブルの罰打が1つ加わり6。これがこの日、唯一のボギーだったが、14番でバーディを取っていたから、インは36。2日間トータル142。天晴れ2アンダーでチャンピオンシップを制した。暑くて、長くて、狭くて、深くて、まるで四重苦を強いるような条件を高校2年、17歳の若者が克服したのである。

●学んで、時に習う

出場全選手が一堂に会して、表彰式は5時30分から行われた。男女合せて4クラスの優勝者には金、2位に銀、3位に銅メダルが大鷲ジュニ

ア育成委員長によって首に掛けられ、そのたびに屈託のない拍手が鳴る。若い熱気に蒸れ返る表彰式が終わったところで、永野選手にインタビューした。

——この間の日本アマ（決勝戦で韓国金庚泰に3and1で敗れる）は残念だったけど、あの敗戦がこの試合の勝因につながった？

「そんなの、まったく考えてません。コースが厳しかったので、フェアウェイに飛ばすことだけ考えていました」

——フェアウェイ・キープ率はどうのくらいだったの。

「80パーセントぐらいだったと思います。アイアンでティーショットしたホールもかなりありましたから」

——17番ではずい分、左へ飛ばしちゃったね。

「ドライバーショットが少し右めに行きがちだったので、ちょっと修正しようと思ったら左腰がとまってヒッカケちゃいました。でも、今日はパットがよく入ったので、それが勝因だと思います」

——ドライバーの飛距離は？

「平均290ヤードぐらいです。ドライバーが飛んでも、アイアンの精度が悪かったらパーオン率が悪くなるし、これからの課題はパーオン率を高めることです」

——今日はどのくらいの率だったと思う。

「60から70パーセントの間ぐらいだったと思います。日本ジュニアに出る頃までには、もっ

とレベルアップしたいです。フェアウェイからなら1ピンに寄せられるくらいに」

——練習はどのくらいしていますか。

「毎日200球ぐらい、学校の練習場や近くの練習場で打ってます。ラウンドは週に1、2回で、おとなの人とワイワイ言いながらプレーすることもある面白いです。ベストスコアは65です」

身長179センチ、体重90キロ。握力は54ぐらいで、背筋は160から170ぐらいだという。出身地は熊本で小学生時代は剣道をやってたが、3年生の時に「ジィちゃん」にゴルフをやるようにすすめられて始めた。

そして茨城の水城高校へ進み今は学校の寮生活。インタビューが終ると熊本のことで仲間と何かいい合っていた。今後は楽しみな少年ゴルファーである。

ほかにたくさん、将来有望な少年少女ゴルファーがいるであろうに、残念ながら見そびれてしまった。観戦子ひとりでは追いつけなかったもので、ご勘弁願いたい。

帰り際、ハウス前の駐車場のそこかしこで学校ごとに円陣をつくり、何やら「反省会」をしていた。厳しいコースでの実践経験を話し合っていたのかもしれない。

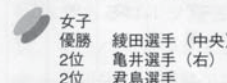
〈学んで時に習う またよろこばしからずや〉

論語のことばが思い出される光景であった。勝って学ぶもよし、負けて学ぶもよし。希望は常に未来にあるのだ。

15歳～17歳の部



男子
優勝 永野選手（中央）
2位 岡部選手（右）
2位 金原選手

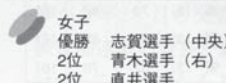


女子
優勝 綾田選手（中央）
2位 亀井選手（右）
2位 君島選手

12歳～14歳の部



男子
優勝 伊沢選手（右）
2位 石川選手
2位 岩間選手（左）



女子
優勝 志賀選手（中央）
2位 青木選手（右）
2位 直井選手

平成17年度(第26回) 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

男子15歳～17歳の部

●開催日 平成17年7月28日(木)～7月29日(金)
●開催コース 相模原ゴルフクラブ・東コース
7,204ヤード パー72

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	永野竜太郎	水 城 (2)	72	70	142
2	岡部 大輔	鹿 島 学 園 (3)	78	71	149
2	金原 原碩	佐 野 日 大 (2)	76	73	149
4	渡辺 権人	佐 野 日 大 (3)	75	75	150
4	日原 篤志	立 正 (3)	74	76	150
6	村瀬 謙二	鹿 島 学 園 (3)	77	74	151
7	宇佐美祐樹	杉 並 学 院 (2)	72	80	152
8	亀井 美博	鹿 島 学 園 (3)	80	75	155
8	寺田 健一	千 葉 学 芸 (2)	80	75	155
8	高柳 直人	拓 大 紅 陵 (2)	74	81	155
8	大満 崇真	拓 大 紅 陵 (2)	76	79	155
12	服部 大輔	千葉日大一高 (2)	79	78	157
12	河辺 拓也	浜 松 日 体 (1)	78	79	157
12	田中 聖也	横浜商大高 (3)	80	77	157
12	本多 俊弘	前 橋 育 英 (3)	77	80	157
16	野田 早人	立 正 (1)	81	77	158
16	宮里 政志	鹿 島 学 園 (3)	78	80	158
16	井上項音士	鹿 島 学 園 (3)	79	79	158
16	谷山 優太	鹿 島 学 園 (3)	76	82	158
16	鬼沢 友秀	埼 玉 平 成 (3)	82	76	158
16	高野 隆	長 岡 高 (1)	80	78	158
16	高橋 良輔	鹿 島 学 園 (2)	78	80	158
23	青木 龍一	関東学院六浦 (2)	82	77	159
23	後関 秀紀	大 宮 開 成 (3)	80	79	159
23	並木 啓枝	多 古 高 (2)	77	82	159
23	百瀬 力弥	作 新 学 院 (1)	78	81	159
27	森井 裕太	厚 木 北 (1)	85	75	160
27	玉城 隆斗	水 城 (3)	80	80	160
27	富島 裕也	水 城 (2)	80	80	160
27	永野 雄亮	拓 大 紅 陵 (2)	77	83	160
31	秋本 久成	埼 玉 栄 (1)	84	77	161
31	飯島 慎平	明 大 中 野 (3)	83	78	161
31	田中 徹	千 葉 学 芸 (3)	84	77	161
31	吉野 幸成	法 政 一 高 (3)	80	81	161
31	中村 俊	JGAジュニア	81	80	161
31	狩野 拓也	千葉日大一高 (3)	79	82	161
31	高畑 友希	静 岡 学 園 (3)	78	83	161
31	坂上 陸郎	埼 玉 栄 (3)	82	79	161

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
31	庄司 由	横浜商大高 (3)	80	81	161
40	羽方 雄基	水 城 (2)	85	77	162
40	吉田 研人	埼 玉 栄 (2)	80	82	162
40	服部 滋多	慶 應 義 塾 (2)	83	79	162
40	三上 諒	埼 玉 平 成 (2)	78	84	162
40	大川 夏樹	湘南学園高 (3)	82	80	162
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
45	田辺 雄大	明 大 中 野 (3)	82	81	163
45	吉沢慎太郎	立 正 (3)	82	81	163
45	永田 真樹	埼 玉 平 成 (3)	79	84	163
45	大田和桂介	鹿 島 学 園 (2)	81	82	163
45	大槻 智春	鹿 島 学 園 (1)	79	84	163
50	大堀 貴之	開 志 学 園 (2)	82	82	164
51	井戸垣隆也	拓 大 紅 陵 (2)	82	83	165
51	金永 亮	埼 玉 栄 (3)	84	81	165
51	力石 清	立 正 (3)	84	81	165
54	大久保太郎	佐 野 日 大 (1)	85	81	166
54	金子 真育	慶 應 義 塾 (3)	84	82	166
54	小平 智	駒 場 学 園 (1)	82	84	166
54	五十嵐東賢	埼 玉 栄 (2)	80	86	166
58	百瀬 将道	松商学園高 (3)	82	85	167
58	川島 徹也	埼 玉 栄 (2)	81	86	167
58	加藤三四朗	埼 玉 栄 (2)	82	85	167
58	金子 達朗	日 大 高 (2)	81	86	167
62	神谷 幸宏	千葉日大一高 (3)	82	86	168
62	久米 朗文	厚 木 北 (2)	82	86	168
62	大関 翔	埼 玉 栄 (3)	84	84	168
62	米本 貴昭	修 徳 (2)	84	84	168
66	七里 直樹	開 志 学 園 (2)	85	84	169
66	杉山 健	水 城 (1)	82	87	169
68	星野慶二朗	日 大 二 高 (2)	85	85	170
68	佐藤 礼弥	立 教 新 座 (3)	82	88	170
70	吉原淳一郎	明 大 中 野 (3)	84	87	171
70	福田 孝貴	埼 玉 平 成 (3)	82	89	171
72	坂上 伶央	埼 玉 栄 (2)	85	87	172
73	森 鯨人	JGAジュニア	83	90	173
73	大島 隼人	麗 澤 (3)	84	89	173

女子15歳～17歳の部

●開催日 平成17年7月28日(木)～7月29日(金)
●開催コース 相模原ゴルフクラブ・東コース
6,365ヤード パー72

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	綾田 紘子	共立女子二高 (3)	80	77	157
2	亀井 綾夏	拓 大 紅 陵 (2)	78	81	159
2	君島 実幸	佐 野 日 大 (2)	78	81	159
4	桑原えりか	成 城 学 園 (1)	83	79	162
5	斎藤 愛璃	厚 木 北 (1)	83	81	164
6	鯉淵 梨沙	千 葉 学 芸 (3)	84	81	165
6	丸山あゆみ	拓 大 紅 陵 (1)	84	81	165
6	小川葉奈美	千 葉 学 芸 (3)	81	84	165
6	植田希実子	埼 玉 栄 (3)	80	85	165
10	清宮 緑	市原緑高 (2)	85	83	168
10	泉 里奈	新 潟 東 高 (3)	83	85	168
10	杉山沙羅紗	専 大 附 属 (1)	82	86	168
13	杉山 美帆	拓 大 紅 陵 (2)	82	87	169
14	田中 理沙	佐 野 日 大 (2)	85	85	170
14	松本 夏美	常 総 学 院 (3)	84	86	170
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
16	西村 友希	埼 玉 栄 (2)	93	79	172
17	阿部 悠	八 海 (1)	87	86	173
18	永嶋明香里	厚 木 北 (1)	89	86	175

女子12歳～14歳の部

●開催日 平成17年7月29日(金)
●開催コース 相模原ゴルフクラブ・東コース
6,365ヤード パー72

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	志賀 友香	桜華女学院中 (3)	44	37	81
2	青木瀬令奈	箱 田 中 (1)	43	40	83
3	直井 梨穂	市川学園中 (3)	41	43	84
4	山口 莉穂	沼 津 三 中 (2)	40	45	85
4	大野 和樹	立 正 中 (3)	40	45	85
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
6	野田ゆりか	太 田 東 中 (3)	43	43	86
7	新井 里茄	青 島 中 (1)	45	42	87
8	嶋田 江莉	杉 並 学 院 (2)	46	42	88
9	小楠 梨紗	新 津 中 (2)	43	48	91
10	清宮 恵	市 原 中 (2)	51	51	102

男子12歳～14歳の部

●開催日 平成17年7月29日(金)
●開催コース 相模原ゴルフクラブ・東コース
6,722ヤード パー72

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	伊沢 秀憲	大 船 中 (2)	38	37	75
2	石川 遼	松 伏 二 中 (2)	38	38	76
2	岩間竜一郎	カトリック・ナガサキ (2)	38	38	76
4	高田 聖斗	城 東 中 (2)	40	37	77
5	佐藤 博史	八 街 北 中 (3)	42	36	78
5	小林 克也	芦 原 中 (2)	40	38	78
5	小袋 秀人	上 飯 田 中 (2)	39	39	78
5	中島 涼太	川越富士見中 (3)	39	39	78
5	矢代 直仁	越 智 中 (2)	38	40	78
5	内藤 慶	入 船 中 (2)	37	41	78
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
11	佐藤 有生	杉 並 学 院 中 (1)	39	40	79
11	保田 和貴	土 浦 三 中 (2)	36	43	79
13	尾崎 貴将	青山学院中 (3)	42	38	80
13	高柳 大	大 泉 南 中 (3)	41	39	80
13	嶋田朱里斗	子 持 中 (1)	38	42	80
13	須藤 裕太	山 梨 南 中 (1)	38	42	80
17	井口 将志	駿 台 甲 府 中 (3)	44	37	81
17	水石 琢哉	松 田 中 (1)	42	39	81
17	中村 貴至	上 柴 中 (3)	42	39	81
20	飯田 達也	日 大 一 中 (2)	43	39	82
20	草柳 航	多 古 中 (3)	42	40	82
20	桜井 勝之	六 本 木 中 (3)	42	40	82
20	荒井 健人	高 輪 中 (3)	42	40	82
24	北川 祐生	修 徳 中 (3)	44	39	83
24	佐藤 匠	砧 中 (3)	43	40	83
24	中島 拓也	小 山 二 中 (2)	42	41	83
24	長船 佑紀	東 金 中 (2)	41	42	83
24	中里光之介	東 調 布 中 (1)	41	42	83
29	大塚 智之	東 松 山 東 中 (3)	45	39	84
29	竹内 法実	市 川 四 中 (2)	44	40	84
31	堀川未来夢	有 馬 中 (1)	44	41	85
32	神保 慧	村 上 中 (3)	44	42	86
32	星野 修平	新 田 中 (1)	43	43	86
34	木崎 亮太	石 岡 府 中 中 (2)	43	44	87
35	高瀬 大和	黒 田 原 中 (3)	42	46	88
36	光吉 佑樹	小 見 川 中 (3)	47	42	89
37	桜井 崇弘	立 正 中 (3)	43	47	90
38	一柳 輝人	西 中 原 中 (1)	47	45	92
39	柘植野 徹	東 鴨 居 中 (1)	47	47	94
39	伊山 祐介	蓮 沼 中 (2)	46	48	94
39	助川 椋	友 部 二 中 (2)	46	48	94

新規加盟倶楽部紹介

ゴールデンクロスカントリークラブ



1. 倶 楽 部 名 ゴールデンクロスカントリークラブ
住 所 〒297-0144
千葉県長生郡長南町市野々575
電 話 0470-82-5211
F A X 0470-82-5241
2. 開場年月日 平成8年3月10日
3. 理 事 長 細金 紳生
倶楽部代表者 細金 紳生、清覚 秀雄
4. 倶楽部分科委員長
競 技 委 員 長 清覚 秀雄
ハンディキャップ委員長 石崎 實
コ ー ス 委 員 長 細金 成光
5. 支 配 人 横山 孝紀
6. 倶楽部概要

当倶楽部は昨年7月1日に旧植生カントリークラブより譲渡を受け、9月1日よりリニューアル

ルオープンいたしました。「年間を通じていつでも鮮やかな緑の中でプレーが楽しめる」をキャッチフレーズに全てのゴルファー憧れの美しい「エバグリーン」を実現いたしました。

18ホール パー72 6,822ヤードで高低差はわずか20メートル以内というフラットな丘陵コースです。

ウォーターハザードの第一人者である小林光昭氏によるコースレイアウトは（施工大成建設）変化と起伏に富み、まさに変幻自在と呼ぶにふさわしく、特に水の絡む7つのホールは広大な池やクリーク、グリーンの半分が突き出た池など、挑む人達の前に厳然と立ちはだかっています。

ショートホールには全てに池が絡み、「美しさ」と「戦略性」を兼ね備えています。特に17番は当倶楽部の中でも名物ホールの1つです。続く18番も池越えのパー5で、2オン狙いか3オンかで池を前に考えさせられます。また、グリーンの状態も良く、油断すると3パットもある比較的速いグリーンとなっています。

今回の加盟を機に、会員の方々と従業員一体となって、県下でもトップクラスのグレードの高いゴルフ場を目指して努力する所存でございますので今後とも宜しくお願いいたします。

KGA Golfer's card

皆さんご存じですか？

KGAゴルフファーズカードは「ゴルファー」と「ゴルフ場」に大変メリットのあるカードです。

- ゴルファーには、充実したゴルファー保険他、様々なサービスが……！
- ゴルフ場には、精算時のカード料率を大幅に引き下げる方法が……！

詳しくはKGA事務局(03-5275-0391)までお問合せ下さい。



理事会・分科委員会

予選最下位から
チャンピオンの座へ平成17年度
臨時常務理事会(第2回)議事録

日 時 平成17年5月27日(金) 正午
場 所 九段会館 珊瑚の間
出席者 吉田理事長、小宮山副理事長
稲川、岩宮、大原、篠崎、
高橋、塚原、萩原、
渡邊各常務理事
同 席 富田理事(ハンディキャップ
委員長)
定刻、吉田理事長、議長を務め開会を
宣し、議事録署名者として岩宮浩、大
原慎二両常務理事を指名した。

—討議及び決議事項—

①ハンディキャップの件

富田ハンディキャップ委員長より、
平成17年4月20日第1回常務理事会の
審議内容に基き、関係先と協議の結果、

- (1)追加機能を当初見積り(平成17年
3月25日)よりも若干プラスする。
- (2)見積り金額については変更なし。

ということとまとまった、との報告があった。

議場では、質疑、応答の後、報告は承認された。

②関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権競技のシステム対応費の件
本日欠席の野口競技委員長に代わり、事務局より説明がなされた。

- (1)アンダーハンディ競技は(予選12
会場、決勝2会場)の短期間の集
中間催となるため、従来より、ソ
ラン県に対し、競技支援をお願い
している。今年度も競技支援作業
として、1,900千円の見積り提示
があった。これは予算計上済のため、
予算通りの執行となる。
- (2)JGAハンディキャップ規定の改定
(小数第1位までの表示)に伴い、
システム対応が必要になる。対応
費用は予算に計上していないので、
ソラン県からの見積額1,260千円に
ついて、支出を可とすべきにつ
き、ご審議をお願いしたい。

議場では、小数点ベースのハンディ
キャップを採用して競技を行うのか、
整数ハンディキャップでもかまわな
いのではとの意見も出、競技委員長
とハンディキャップ委員長の協議に
委ね、その結論によることとした。
またシステム対応費については、必
要あればやむを得ない性質のもので
あるが、若干高めな感じがする。減
額交渉をすべきとの結論となった。

③各委員会報告

事務局より次の説明があり承認され
た。

月例競技年度の変更

ゴルフ規則改正時期や、シード選
手の決定等、翌年にまたがると不
都合な点があるため、本競技の年

度を従来の4月—3月から1月—12
月に変更する。
尚、平成17年度は変則的に4月—
12月とする。

④事務局長人事の件

議長は、市橋克之丞事務局長より、
任期満了(平成17年7月末)に伴い
退任届が提出されことを報告し、後
任は小林省一氏としたい旨提案し承
認された。

全議事終了後、吉田理事長14時15分閉
会を宣した。

平成17年5月27日
議事録確認署名者

議 長 吉田 友明 (印)
署名者 岩宮 浩 (印)
署名者 大原 慎二 (印)

平成17年度
第3回 常務理事会議事録

日 時 平成17年7月14日(木)
午前10時

場 所 ルビーホール 羽衣の間

出席者 吉田理事長、
小宮山、竹田両副理事長
赤羽、稲川、岩宮、篠崎、
高橋、塚原、南学、野口、
萩原、広中、渡邊各常務理事

同 席 平山理事（入会推薦理事）
定刻、吉田理事長、議長を務め開会
を宣し、議事録署名者として篠崎勝宏、
高橋正孝両常務理事を指名した。

—討議及び決議事項—

①委員会報告及び提案の件

(1)総務委員会「個人情報保護法への
対応の件」
議長の指名により、小宮山総務委
員長（副理事長）より、当連盟は
平成17年4月1日施行の個人情報保
護法にいう、個人情報取扱事業者
に該当するため、「個人情報の取
扱基準」（案）の策定など、対応
を進めているとの説明の後、事務
局より詳細な説明を行った。

①個人情報取扱基準の制定

②個人情報管理規程の制定

③個人情報保護管理者及び監査
責任者の任命

議場で審議の結果、①と②につい
ては平成17年4月1日よりの溯及適
用、③については個人情報保護管
理者に小林省一事務局長、監査責
任者に近藤敬、廣瀬康夫両監事を
本日付任命し発令した。

(2)カード部会「KGAゴルフファーズ
カード会員増強のためネット広告
を実施する件」

議長の指名により、高橋カード部
会長より、インターネットの「ゴ
ルフ場予約サイトウゴ」（㈱ラ

イブドアファイナンス）に広告を
掲出する。予算はカード事業費用
枠3,200千円で賄う予定であり、効
果を見ながら今後継続するか見極
めることとしたい。新しい広告媒
体を使う事への了解を得たいと説
明。議場の了解を得た。

(3)競技委員会「上期競技の件」及び
「平成17年度アンダーハンディキ
ャップゴルフ選手権競技の件」
議長の指名により、竹田副理事長
（競技担当）より、上期競技は大
きなトラブルもなく順調に実施す
ることができたとの発言の後、野
口競技委員長より総体として前年
比、予算比ともプラスになったと
報告され、下期競技についても皆
様のご協力をお願いしたいとの発
言があった。

アンダーハンディキャップゴルフ
選手権競技については、竹田副理
事長より、本競技に適用するハン
ディキャップについては去る5月
27日の常務理事会で競技委員長と
ハンディキャップ委員長の協議に
委ねられた。これを受け理事長、
競技委員長、ハンディキャップ委
員長と協議した結果、JGAハンデ
ィキャップの小数点第一位を四捨
五入した整数値とすることとした。

これは、JGAによるJGAハンディ
キャップ規定の改正（平成17年1
月1日実施）後、日が浅いことや、

タイスコアの場合の順位決定等集
計作業が小数点ベースでは複雑と
なるため、整数値とするものであ
る。

なお、本競技の開催日程としては
9、10月の都県ブロック大会、11
月の決勝大会を予定しており、競
技参加者は都県によりかなりバラ
ツキがあるのが実情であるため、
各都県とも多数の参加が実現する
ように働きかけて頂きたいとの発
言があった。

(4)KGAニュースのカラー化の件

議長の指名により、高橋広報委員
長より、KGAニュースのアンケ
ート結果より①都県単位の活動情
報がほしい、②新鮮さに欠ける、
③競技関係記事が多すぎる④投稿
者を外部に募るほうが良い、⑤活
字を大きくして欲しい、⑥マンネ
リ化している等の意見があった。
都県情報はインタビュー形式シリ
ーズにて始めており、競技内容も
これから写真を増やし、且つカラ
ー化すべく検討している。今年度
は部分カラーを実施し現在と同料
金で製作し、来年度より印刷費の
アップも考えられるため予算措置
をお願いしたいとの提案発言があ
った。

議場で審議の結果、高橋広報委員
長の提案説明通り可決承認された。

②加盟審査の件

(1)「トムソン ナショナル カントリ
ー倶楽部」

篠崎常務理事の推薦発言の後、議
場で審議の結果、可決承認され
た。

(2)「水戸レイクスカントリークラ
ブ」

平山理事よりの推薦発言の後、議
場で審議の結果、可決承認され
た。

尚、入会申請時必要書類である会員
名簿について、個人情報保護法との
関係で作成しない倶楽部も出てくる
ことが予想されるため、今後総務委
員会にて外す方向で検討したいとの
意見が出された。

③退会倶楽部の件

議長の指名により、事務局より「サ
ンランドゴルフクラブ那須コース」
（栃木県）の退会事情につき説明の
後、議場で審議の結果、可決承認さ
れた。

④JGA個人会員入会審査の件

7月14日現在入会申請のあった69名
について、これを承認し、財日本ゴ
ルフ協会に名簿を提出したい旨の提
案がなされ承認された。

⑤競技等後援の件

7月14日現在後援申請のある下記5競

技と1展示会の後援を承認した。

「2005茨城アマチュアダブルスゴ
ルフ選手権大会（第18回）」

「2005茨城シニアアマチュアダブル
スゴルフ選手権大会（第1回）」

「2005茨城女子アマチュアダブルス
ゴルフ選手権大会（第4回）」

「第24回日刊アマ・関東ダブルスゴ
ルフ選手権」

「ゴルフネットワーク選手権チュ
ーリヒカップ2005」

「05芝草管理機・資材展示会」

⑥倶楽部対抗競技の件

議長の指名により、竹田副理事長よ
り、「本件は去る4月20日の常務理事
会に上程した案件であり、本競技は
当連盟の重要競技につき、更に審議
を尽す必要があるとして、継続審議
になったものである。手許資料に基
づき審議願いたい」との発言の後、
事務局より詳細説明を行った。

議場で審議の結果、ゴルフ振興の為
には多数出場できる方式が良いとの
意見があり、予選は、各都県の出場
倶楽部数が大きく異なるため同一方
式とすることは難しいので、各都県
に一任する。については各都県の実施
方を11月15日開催予定の常務理事
会へ報告してもらうこととなった。

決勝は今年度方式を踏襲し決勝進出
割合1/8で50倶楽部出場とする。
また登録選手人数は今年度同様6-6

の12名以内とするとの結論に達し承
認された。

⑦その他

(1)関東ゴルフ連盟事務局入居ビル家
主変更の件
事務局より、平成17年6月30日付
で当連盟入居ビルの所有権が現在
の㈱シー・ティ・エスより新所有
者みずほ信託銀行㈱へ移転し、一
括賃貸人となったサンフロンティ
ア不動産㈱（16.11JASDAQ上場
資本金491百万円）が新家主とな
るとの報告を行った。

議場では、同一条件での承継は拒
否できないが、次回契約交渉にお
いて値上げの可能性もあるため、
今回の「賃貸借承継に関する確認
書」締結時、次回契約更改時値上
げをしない旨の特約条項を入れる
べく交渉努力をすべきとの意見が
出された。但し、値下げの可能性
に対応できない特約条項は結果と
して不利にならないかとの意見も
あり事後調整の結果、特約条項な
しにて確認書締結のこととした。

(2)JGAハンディキャップ規定情報の
件

渡邉常務理事より、最近のJGAハ
ンディキャップ情報についてJGA
会議事録を基に発言があった。

全議事終了後、吉田理事長11時40分閉
会を宣した。

平成17年7月14日

議事録確認署名者

議長 吉田 友明 (印)

署名者 篠崎 勝宏 (印)

署名者 高橋 正孝 (印)

平成17年度
第2回 理事会議事録

日時 平成17年7月14日 (木) 正午

場所 ルビーホール 鳳凰の間

出席者 吉田理事長

小宮山、竹田両副理事長
赤羽、稲川、岩宮、大原、
篠崎、高橋、塚原、南学、
野口、広中、渡邊各常務理事
相澤、牛込、遠藤、大鷲、
尾関、古賀、佐々木、
田土部、田村、貫井、平岩、
平山、福嶋、福田、堀内、
前川、宮坂各理事
近藤、廣瀬両監事

開会に先立ち、7月1日付で交代した新事務局長小林省一氏、旧事務局長市橋克之氏の紹介及び挨拶を受けた後、吉田理事長、議長を務め開会を宣した。
事務局より理事58名中、委任状を含めた52名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、赤羽功常務理事、牛込公一郎理事を指名し、順次議題審議を行った。

——討議及び決議事項——

①委員会報告及び提案の件

(1)総務委員会「個人情報保護法への対応の件」

小宮山委員長 (副理事長) より

①個人情報取扱基準、②個人情報管理規程は平成17年4月1日よりの遡及適用、③個人情報保護管理者に小林省一事務局長、監査責任者に近藤敬、廣瀬康夫両監事を本日付任命発令することを報告した。

(2)カード部会「KGAゴルフファーズカード会員増強のためネット広告を実施する件」

高橋カード部会長より
インターネットの「ゴルフ場予約サイトウゴ」(株ライブドアファイナンス)に広告を掲出することを報告した。

福田理事より、オーエムシーカードの利用制限の改定等使い易いシステムへの変更を検討したいとの意見が出された。

(3)競技委員会「上期競技」及び「平成17年度アンダーハンディキャップゴルフ選手権競技の件」

竹田副理事長 (競技担当)、野口競技委員長より「上期競技」は順調に実施できた。下期競技においても協力願いたいと報告の後、「平成17年度アンダーハンディキャップゴルフ選手権競技」でのハンデ

ィキャップについて、JGAハンディキャップの小数点第一位を四捨五入した整数値とすることを報告し、各都県とも多数の参加が実現するよう働きかけて欲しいとの発言があった。

(4)「KGAニュースのカラー化の件」
高橋広報委員長より
KGAニュースのアンケート結果等より今後写真を増やしカラー化すべく検討していると報告がなされた。

②理事退任の件

小宮山副理事長より
静岡県の佐藤三理事が倶楽部代表者を退任され、連盟規約第14条の資格を喪失し理事を退任された。理事に欠員が生ずるため、規約第15条により来年度の総会で補選を行いたい。については静岡県推薦委員の南学常務理事に理事候補者の推挙をお願いしたいとの発言があり、次回以降の理事会において理事候補者を決定することとなった。

③JGAゴルフファーズ倶楽部の件

JGAの「JGAゴルフファーズ倶楽部運営本部」委員の塚原常務理事より現状報告があった。

④その他

(1)「関東ゴルフ連盟事務局入居ビル

家主変更の件」
事務局より、平成17年6月30日付で当連盟入居ビルの所有権が現在の縣シー・ティ・エスより新所有者みずほ信託銀行株へ移行し、一括賃貸人となったサンフロンティア不動産株が新家主となるとの報告を行った。

(2)「グリーン研究講習会の開催について」
平山理事より、8月23日 (火) 13時より中央大学駿河台記念館において、恒例のグリーン研究講習会を計画している、多数の皆様の参加をお願いしたいとの発言があった。

全議事終了後、吉田議長13時15分閉会を宣した。

平成17年7月14日

議事録確認署名者

議長 吉田 友明 (印)

署名者 赤羽 功 (印)

署名者 牛込公一郎 (印)

平成17年度
第4回 月例競技委員会議事録

日時 平成17年6月3日 (金) 12:00~

場所 関東ゴルフ連盟事務局会議室

出席者 中野委員長

小室、阪田、嶋田各副委員長
加藤、神津、小坂、高橋、
平山、星野、山崎、
渡辺各委員

当日連絡1名

(女子1名)

無断欠席0名

出場者数 140名

(男子91名、女子49名)

科 罰 者 1名 (男子1名)

失 格 者 0名

棄 権 者 1名 (男子1名)

次回ブレイオフ なし

——討議及び決議事項——

①5月度月例競技報告及び総括

嶋田副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。
「前日および当日午前中までの降雨のためコースコンディションが心配されたが、水はけが良く、バンカーも問題なく、選手は良いコンディションでプレーが出来た。9番ホールが工事中のためパー3として競技を行ったため全体的にスコアが1~2打良くなることが予想された。グリーンはスティンブメーター10フィート、コンパクション10の予定であった。多量の降雨のため難しいホールロケーションが十分に機能せず、次月度出場有資格者は78ストロークまでとなった。ミーティングで「真のゴルフファーズ」についてマナー、エチケットを含め啓蒙指導を行った。」

開催日 平成17年5月31日 (火)

コース 霞ヶ関カンツリー倶楽部・西コース

エントリー 145名 (男子93名
女子52名)

欠 場 者 数 事前連絡4名
(男子2名、女子2名)

②6月度月例競技について

6月度月例競技は大利根カントリークラブ・東コースにて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、小室副委員長および平山委員に任することを確認した。

③その他

(1)来年度競技日程について
中野委員長より日程案が発表され、全委員これを確認した。各交渉担当委員が決定され、次回以降の委員会で各担当より交渉状況が発表されることとなった。

(2)スプリング効果が基準値を超えるクラブ (いわゆる高反発クラブ) について
競技委員会より平成17年5月2日付で「2006年以降の関東ゴルフ連盟主催競技の「競技の条件」にドライビングクラブの規制を加える」旨の通達がなされたことを受け、月例競技では2006年1月度競技より

り上記「競技の条件」を加えることとした。

(3)競技年度変更に伴う規定変更について

来年度より競技年度を1月から12月までとすることに伴い、競技規定の一部変更が事務局から発表され、全委員これを了承した。

(4)備品の作成について

月例競技は冬期にも開催されるため、競技委員用にセーターとベストを支給して欲しいとの意見が出され、事務局で至急検討することとした。

(5)次回委員会開催日について

次回委員会は7月20日(水)正午より関東ゴルフ連盟事務局会議室にて行うこととなった。

平成17年度
第5回 月例競技委員会議事録

日時 平成17年7月20日(金)12:00～

場所 関東ゴルフ連盟事務局会議室

出席者 中野委員長

小室、嶋田各副委員長

加藤、河本、小坂、高橋、

額賀、平山、星野各委員

学生連盟委員

——討議及び決議事項——

①6月度月例競技報告及び総括

小室副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「朝まで降っていた雨はスタート時にあがり、前日とは全く変わって暑くもなく風もなく、グリーンも非常によく止まり適度な速さで最高のコンディションであった。男子のスコアは非常に良く、5位入賞者のスコアが70ストローク(2アンダー)というハイレベルな競技となった。女子の優勝スコアは73ストロークで高校生であった。朝方、周辺道路の交通渋滞のため、数人の遅刻者が出た。」

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成17年6月29日(木)

コース 大根根カントリー

ラブ・東コース

エントリー 145名

(男子98名、女子47名)

欠場者数 事前連絡4名

(男子3名、女子1名)

当日連絡2名

(女子2名)

無断欠席0名

出場者数 139名

(男子95名、女子44名)

科 罰 者 2名(女子2名)

失 格 者 2名(男子1名、女子1名)

棄 権 者 0名

次回プレーオフ なし

②8月度月例競技について

8月度月例競技は程ヶ谷カントリー倶楽部に開催されるが、コースセッティングは中野委員長および小室、嶋田各委員長に一任することを確認した。

③その他

(1)来年度競技日程について

各交渉担当委員より交渉状況が発表され、全委員これを確認した。

(2)次回委員会開催日について

次回委員会は8月25日(木)正午より関東ゴルフ連盟事務局会議室にて行うこととなった。

平成17年度
第6回 月例競技委員会議事録

日時 平成17年8月25日(木)12:00～

場所 関東ゴルフ連盟事務局会議室

出席者 中野委員長

嶋田副委員長

小坂、高橋、山崎、渡辺、

各委員

学生連盟委員

——討議及び決議事項——

①8月度月例競技報告及び総括

嶋田副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「厳しい暑さであったが、風があり、

選手は十分に実力を発揮できたようであった。ホールロケーションが難しく、距離の短さをカバーしていた。グリーンコンディションが素晴らしく、選手は喜んでいた。」

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成17年8月8日(月)

コース 程ヶ谷カントリー倶楽部

エントリー 124名

(男子93名 女子31名)

欠場者数 事前連絡6名

(男子6名)

当日連絡1名(男子1名)

無断欠席0名

出場者数 117名

(男子86名 女子31名)

科 罰 者 2名(男子2名)

失 格 者 0名

棄 権 者 1名(男子1名)

次回プレーオフ なし

②9月度月例競技について

9月度月例競技は箱根カントリー倶楽部に開催されるが、コースセッティングは中野委員長、高橋委員および渡辺委員に一任することを確認した。

③その他

(1)来年度競技日程について

各交渉担当委員より交渉状況が発表され、全委員これを確認した。

来年度競技は1月からの開催のため、9月中に来年度競技日程を決定することとした。

(2)次回委員会開催日について

次回委員会は10月5日(水)正午より関東ゴルフ連盟事務局会議室にて行うこととなった。

平成17年度 関東ゴルフ連盟
第1回 ジュニア育成委員会議事録

日時 平成17年3月3日(木)

午後2時

場所 九段会館 瑞穂の間

出席者 大鷲委員長

萩原、笠川、川島、嶋田、

中島、藤園各副委員長

麻布、市川、伊東、稲富、

岩田、大野、唐木、北本、

栗原、琴河、小林、佐藤(稔)、

佐野、杉山(文)、田村、林、

廣瀬(浩)、安間、山岡、

吉田、米澤、和久各委員

澁谷、梅沢、長岡、吉澤各都

県アマチュア団体委員

——討議及び決議事項——

討議に先立ち、市橋事務局長より開会を宣し、順次議題審議を行った。

①平成17年度活動方針

大鷲委員長より下記の方針が示され

た。

「本年度も競技、スクール、大会を中心に活動を継続する。技術面の充実とあわせ正しいゴルフを教え、すばらしいスポーツであることを伝える場としたい。低迷するゴルフ界を活性化するためにも、ジュニア育成は重要課題と考え、底辺拡大に努めたい。委員諸氏には所属倶楽部や各都県において「ジュニア育成委員会」「スクール開催」「コースの一部開放」など、より良いゴルフ環境作りのためにご協力、ご尽力を賜りたい」。

②副委員長、委員選任の件

委員長より、2月22日の総会後開催された理事会、委員長会議において副委員長と委員が選任されたことの報告があり、全員これを確認した。副委員長には、小学生の増加、女子ジュニアに対応するため、新たに矢嶋智都子氏を増員した。

●副委員長

萩原知昭、笠川喜久男、

川島英雄、嶋田憲人、

中島廣行、藤園賢雄、矢嶋智都子

●新任委員

麻布啓、伊藤昌紀

③班編成について

居住地または所属倶楽部の地域で3班に分け、各班の担当都県を確認し

た。
また、各班の統括副委員長は次記のとおり。

- 1班 笠川、藤岡副委員長
栃木県、茨城県、千葉県
2班 荻原、川島副委員長
新潟県、長野県、群馬県、
埼玉県、東京都
3班 嶋田、中島、矢嶋副委員長
山梨県、神奈川県、静岡県

④春季ジュニア・ゴルフスクールについて

班別担当会場が発表され全委員これを確認した。

昨年同様7会場での開催とし、

- (1)青梅ゴルフ倶楽部
(中・上級者対象)
(2)ハイランドセンター
(初心者対象。練習場でのレッスンとショートコースのラウンド)
の2会場が新規開催となった。

基本方針としては昨年同様、小学生のプレーイングディスタンスについて、パー4、パー5のホールではティーマーカーをフェアウェイまで出し、適正距離でのプレーを徹底する。初級者と小学生のクラブ本数制限も実施する。参加者全員に18ホールを回り、最後までプレーをするという本来の楽しさを知ってもらいたい。また、従来同様、小学生の親権者が同行できる会場を設けスクールの主旨

やマナー等を伝えることとする。

また、KGAのジュニア活動はJGAの方針に伴い基本的には中上級者のジュニア育成を対象としているが、ここ数年小学生の初級者ジュニア会員が増加しており、初級者スクールの開催を希望する声も多い。ハイランドセンターは、KGAとして初めての練習場でのスクールとなり、コースに出たことのないジュニアを対象とする。スナッグゴルフで感覚を掴んだジュニアに対して、練習場でレッスンを受け、ショートコースで遊びながら基本を学ぶ機会を提供する場として開催する。

⑤夏季ジュニア・ゴルフスクールについて

別紙資料の日程と昨年同様の13会場で開催する。また、最近数年実施しているクラブの本数制限の効果で、体調を崩す者が減少しており、今年も健康面に十分留意して活動することを確認した。

⑥ジュニアゴルフ大会について

毎年、若洲ゴルフリンクスと朝霧ジャンボリーゴルフクラブの2会場で開催しているが、若洲会場については炎天下での開催のため参加者が体調を崩す例が多い。このため若洲会場での開催を来年より夏から春に移行する（平成18年は3月28日開催）

との報告があった。

若洲大会は本年で第11回を迎えるが、現在小学生ジュニア会員が約850名いる中、その1/4にあたる200名以上の申し込みがあり定着した大会となっている。この大会に毎年参加していたジュニア達が継続してKGA主催競技に出場しており、競技ゴルフのルールやマナーを教える場と評価を受けている。今後も中上級者を対象とした小学生ジュニア育成の場として継続して開催していくこととしたい。

第5回を迎える「朝霧ジャンボリーゴルフクラブ」の大会は例年通り、1日目はスクール、2日目は競技形式の大会として行なう。ルールやスコアカードの書き方等についての指導を中心に行ないたい。また親権者1名がスコアラーとして同行することを確認した。

⑦関東ジュニア選手権予選、決勝について

別紙の日程で、予選6会場、決勝1会場で開催することを確認した。
今年度から決勝競技は、3会場を3年に1回の順番で開催していくこととしたい。来年度以降の会場については現在交渉中であるが、今年度は相模原ゴルフクラブ・東コースで開催する。予選競技は下記6会場で開催する。

男子15歳～17歳の部

日高カントリークラブ
茨城ゴルフ倶楽部・西コース
程ヶ谷カントリー倶楽部
千葉カントリークラブ・野田コース

男子12歳～14歳の部

藤ヶ谷カントリークラブ
女子15歳～17歳の部、女子12歳～14歳の部
鎌ヶ谷カントリークラブ

大鷲委員長より、長年にわたり男子15歳～17歳の部予選会場として御協力をいただいた富士カントリークラブ、過去3年間決勝競技会場として御協力いただいた茨城ゴルフ倶楽部に対して謝辞が述べられた。
また、毎年夏のジュニア活動は他競技とも重複し、相当な過密スケジュールになるため、全委員に対し、競技、スクール、大会についてできる

だけ多くの出席要請がなされた。

⑧その他

委員長よりジュニアゴルフファースト育成協議会の活動について報告があった。また、委員諸氏より各倶楽部や地域でのジュニア育成活動について活発な意見が交わされた。

月例競技成績表

〔平成17年度5月月例〕平成17年5月31日(火) 霞ヶ関カントリー倶楽部・西コース

男子	ランク	スコア	氏 名	倶 楽 部
	1	70	岡部 大輔	ノースショア
	2	71	亀井 隆	唐 沢
	2	71	杉山 珍	武 蔵
	2	71	豊島 豊	東 千 葉
	2	71	仁木 海渡	鶴 岡

女子	ランク	スコア	氏 名	倶 楽 部
	1	76	小島絵梨香	ツインレイクス
	2	79	落合 麻紀	小田原・松田
	2	79	樹田由美子	ト ー ヨ ー
	2	79	山本美恵子	新 千 葉
	2	79	神津 成美	下 野

〔平成17年度6月月例〕平成17年6月29日(水) 大利根カントリークラブ・東コース

男子	ランク	スコア	氏 名	倶 楽 部
	1	68	亀井 美博	ノースショア
	2	69	豊島 豊	東 千 葉
	2	69	竹石 要佑	筑 波
	2	69	松田 永基	清 川
	5	70	関沢 誠	ツインレイクス

女子	ランク	スコア	氏 名	倶 楽 部
	1	73	綾田 結子	大 宮 国 際
	2	76	小坂 順子	千 葉
	3	78	神津 成美	下 野

〔平成17年度8月月例〕平成17年8月8日(月) 程ヶ谷カントリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏 名	倶 楽 部
	1	68	斉藤 剛	リバーサイドフェニックス
	2	69	宮本 博幸	大 熱 海 国 際
	3	71	角田 浩導	東 名
	3	71	塩田 一樹	関 東 国 際
	3	71	竹原 洋行	東 名

女子	ランク	スコア	氏 名	倶 楽 部
	1	77	南雲 真理	岡 部 チ サ ン
	2	78	佐藤 彩香	小田原・松田
	2	78	南雲 貴香	岡 部 チ サ ン

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。(7月13日現在)

倶楽部名

■(新) 佐久 春日野カントリー倶楽部
(旧) ヴィラ蓼科カントリー倶楽部

会社名 日本デアールデイ(株)

■(新) 北の杜カントリー倶楽部
(旧) 青春カントリー倶楽部

会社名 (株)北の杜カントリー倶楽部

■(新) ゴールド佐野カントリークラブ
(旧) ヴェルデ佐野カントリー倶楽部

会社名 (株)サクセスガーデン佐野

■(新) ケントスゴルフクラブ
(旧) 新・フォレストスゴルフクラブ

会社名 (有)ケントスゴルフクラブ

■(新) ゴールド木更津カントリークラブ
(旧) アカデミアヒルズカントリークラブ

会社名 (株)サクセスゴルフ

理事長

■佐久 春日野カントリー倶楽部
(新) 今井 巖

■城山カントリー倶楽部
(新) 大川 新 (旧) 松岡 和彦

■笠間東洋ゴルフ倶楽部
(新) 松本 敬三 (旧) 八幡 俊男

■飯能グリーンカントリークラブ
(新) 木川 一男 (旧) 小山 景一

■茂原カントリー倶楽部
(新) 野田 順弘 (旧) 有若 仁

■箱根カントリー倶楽部
(新) 近藤 道生 (旧) 平田 秋夫

倶楽部代表者

■糸魚川カントリークラブ
(新) 松島浩太郎 (旧) 神屋 博

■佐久 春日野カントリー倶楽部
(旧) 堂野 忠司

■笠間東洋ゴルフ倶楽部
(新) 松本 敬三 (旧) 八幡 俊男

■飯能グリーンカントリークラブ

(新) 木川 一男
(旧) 小山 景一/齊藤 英雄

■東松山カントリークラブ

(新) 阿久津 馨 (旧) 吉田 正昭

■茂原カントリー倶楽部

(新) 野田 順弘 (旧) 有若 仁

■箱根カントリー倶楽部

(新) 近藤 道生 (旧) 平田 秋夫

■伊豆大仁カントリークラブ

(新) 土橋 徹 (旧) 佐藤 研三

■大熱海国際ゴルフクラブ

(新) 今泉 芳親 (旧) 永田 勇夫

支配人

■佐久 春日野カントリー倶楽部

(新) 大島 英夫 (旧) 永井 正人

■甲斐美蓉カントリー倶楽部

(新) 阿部 秀之 (旧) 坂本 弘

■中央都留カントリー倶楽部

(新) 乾 憲男 (旧) 新谷 浩章

■太田双葉カントリークラブ

(新) 大谷 正夫 (旧) 相澤 伸幸

■サンランドゴルフクラブ東軽井沢コース

(新) 安永 廣

(旧) 高橋 勇(総支配人)

■城山カントリー倶楽部

(新) 佐藤 国夫 (旧) 石川 博

■ケントスゴルフクラブ

(新) 桜井 憲(総支配人)

(旧) 峯島 佳明

■玉造ゴルフ倶楽部

(新) 石橋 勝行

(旧) 田口駿太郎(総支配人)

■武蔵松山カントリークラブ

(新) 関口 伸一 (旧) 半田 正夫

■茂原カントリー倶楽部

(新) 辻 和代 (旧) 赤間 民雄

■桜ヶ丘カントリークラブ

(新) 伊藤 光洋 (旧) 野崎 弘明

■大熱海国際ゴルフクラブ

(新) 今泉 芳親 (旧) 永田 勇夫

■アバディン グラブ ゴルフ ソサエティ

(新) 吉田 廣(総支配人)

(旧) 川村 誠

東京事務所

■佐久 春日野カントリー倶楽部

〒101-0061

千代田区三崎町2-9-5

TJビル5F

TEL 03-3222-5031 FAX 03-3222-5032

■中央都留カントリー倶楽部 閉鎖

■日高カントリークラブ 閉鎖

■大相模カントリークラブ

〒141-0031

品川区西五反田8-1-2

平森ビル8F

TEL 03-5759-2574 FAX 03-5759-1520

会社名

■茂原カントリー倶楽部

(株)茂原カントリークラブ

HDCCP

■初穂カントリークラブ J-sys

■妙義カントリークラブ J-sys

■茂原カントリー倶楽部 J-sys

準会員より正会員

アバディン グラブ ゴルフ ソサエティ

体協会員

栃木県ゴルフ連盟

電話番号 028-621-0411

平成17年9月1日発行 KGA ニュース No.89

発行所/関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル3F TEL.(03) 5275-0391 ホームページ <http://www.kga.gr.jp>

発行人/吉田 友明 編集/広報委員会